



# 3Q of Fiscal Year 2017 Business Results



2018年3月期 第3四半期  
決算説明資料



カブドットコム証券

# 目次

<b>目次</b>	<b>p.1</b>	
<b>I. 2017年度第3四半期ハイライト</b>	<b>p.2 ~</b>	<b>p.5</b>
<b>II. 決算概況</b>	<b>p.6 ~</b>	<b>p.13</b>
<b>III. 当期の取り組み</b>	<b>p.14~</b>	<b>p.19</b>
<b>IV. 経営目標</b>	<b>p.20~</b>	<b>p.25</b>
<b>Appendix.</b>		
<b>V. リテール業務</b>	<b>p.26~</b>	<b>p.39</b>
<b>VI. BtoBtoC業務</b>	<b>p.40~</b>	<b>p.43</b>
<b>VII. その他計数・非財務情報</b>	<b>p.44~</b>	<b>p.48</b>

# I . 2017年度第3四半期ハイライト

---

## 2017年度第3四半期株式等個人市場ハイライト

日経平均株価は過去最高となる16連騰を記録し、バブル経済崩壊後の高値を更新する約26年ぶりの水準まで上昇。

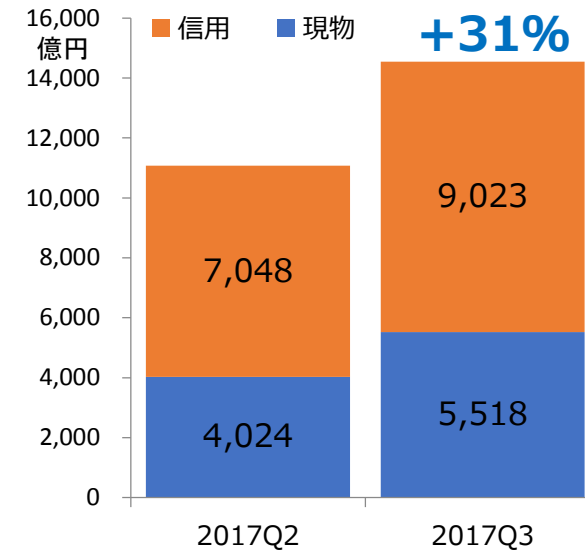
### 売買代金 (フロー)

- ・ 総選挙で与党が安定多数を上回ったことによる政権基盤安定への期待等もあり、日経平均株価はバブル経済崩壊後の高値を更新、株式等委託売買代金/日は**前四半期比+31%**。
- ・ 株式（個人）は7四半期連続で**売り越し**。

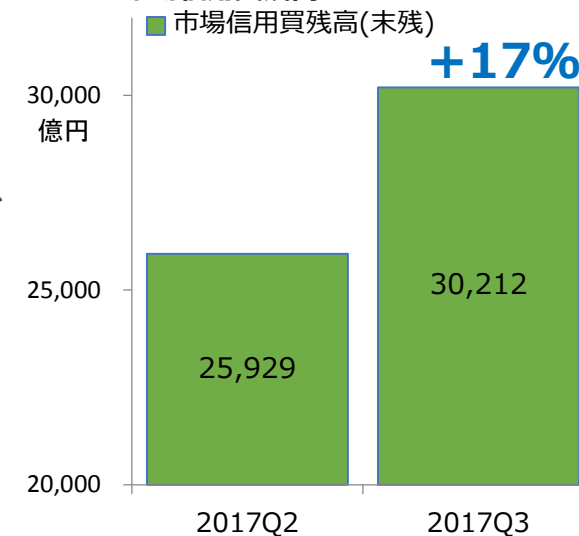
### 信用買残高 (アセット)

- ・ 市場信用買残高（未残）は前四半期から続伸、**前四半期比+17%**

株式等委託売買代金/日



市場信用買残高



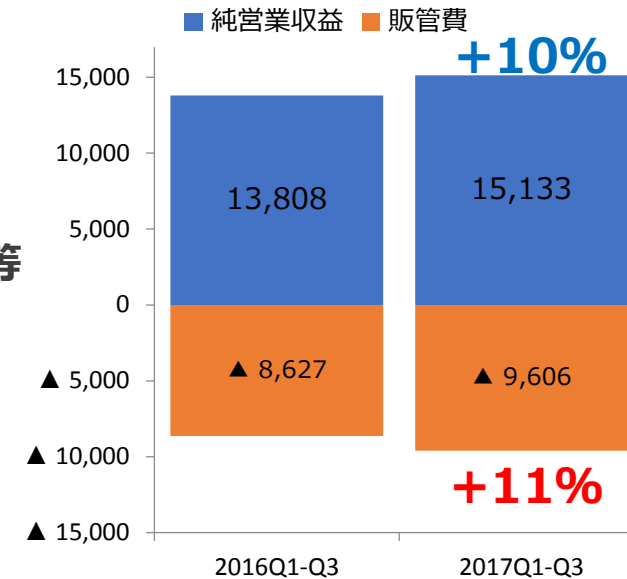
## 2017年度第3四半期業績ハイライト

レンディング好調、信用買残高堅調の金融収支が過去最高を更新。

2017年度  
1Q-3Q累計業績

- ・ 5四半期連続増加して過去最高を更新した金融収支が寄与し、増収。
- ・ 1Q-2Qの広告宣伝費（TVCM放映含む）等の一時的な費用計上により販管費増加。

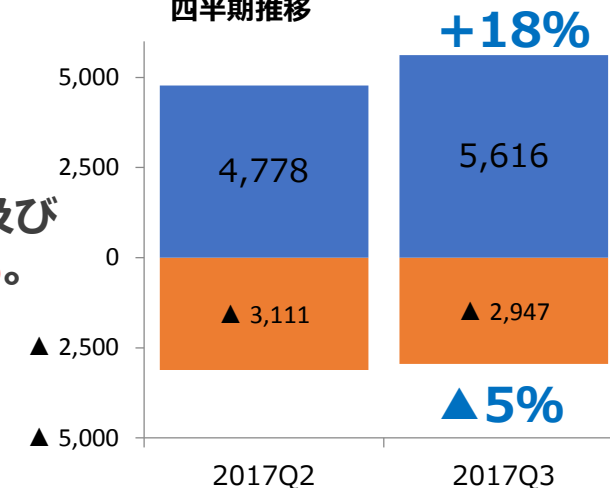
累積推移



2017年度  
第3四半期業績

- ・ 5四半期連続で増収となった金融収支が過去最高を更新し、**純営業収益+18%**。
- ・ 取引活況により変動費増加も、広告宣伝費及びシステム関連費抑制により、**販管費は▲5%**。

四半期推移

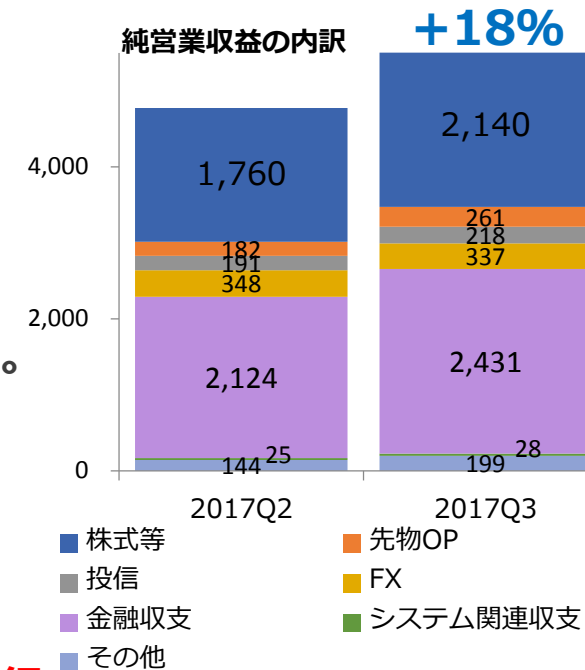


## 2017年度第3四半期セグメントハイライト

市況回復を主因として「リテール業務」「BtoBtoC業務」とともに着実に増収。

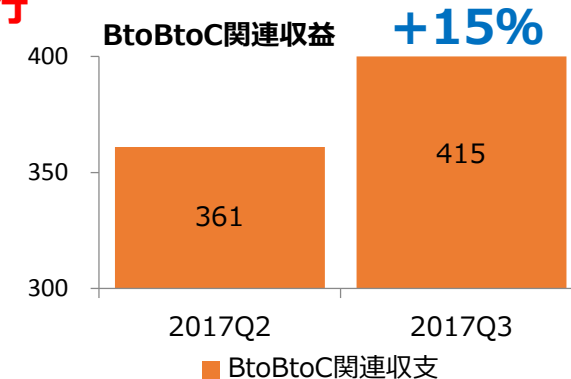
## リテール業務

- ・金融収支は**5四半期連続増収**となり、四半期ベースで**過去最高を更新**。
- ・ボラティリティ回復し、**先物OP収益は前四半期比+43%**。
- ・株価上昇を受け、お客さまからの預り資産、株式預り資産は**3四半期連続で過去最高を更新**。



## BtoBtoC業務

- ・三菱東京UFJ銀行とKDDIが設立した**じぶん銀行**との**同時口座開設**スタート。
- ・kabu.com APIとKDDIのIoT技術の連動による「**株価連動LEDセンサー**」をCEATECに出展する等、**KDDIとの協業進展**。



## Ⅱ. 決算概況

---

## 決算概況（1-3Q累計）

- 純営業収益増収。TVCM等の一時的費用により販管費増加も、経常利益増益。
- 投資有価証券売却益10億円を計上も、前年同期（12億円）からの反動減あり、純利益は横ばい。

(単位：百万円)	2016年度 1-3Q	2017年度 1-3Q	前年同期比
営業収益	15,800	18,068	+14%
受入手数料	7,327	7,789	+6%
金融収益	7,607	9,054	+19%
トレーディング損益	865	716	-17%
システム販売	-	507	-
金融費用	1,991	2,491	+25%
(金融収支 = 金融収益 - 金融費用)	5,616	6,562	+17%
システム販売費用	-	442	-
(システム販売収支 = システム販売 - システム販売費用)	-	64	-
純営業収益	13,808	15,133	+10%
販管費	8,627	9,606	+11%
営業利益	5,180	5,526	+7%
経常利益	5,331	5,600	+5%
税引前純利益	6,742	6,708	-0%
当期純利益	4,657	4,617	-1%
(参考)二市場株式等個人委託売買代金/日(億円)	10,894	12,278	+13%
(参考)二市場信用買建期末残高(億円)	20,938	30,212	+44%



## 純営業収益（商品別：1-3Q累計）

- 金融収支5四半期連続増収及び現物取引好調の株式等委託手数料が寄与し、純営業収益+10%。
- 上期のボラティリティ低下によりデリバティブ商品（先物OP・FX）低迷。

(単位：百万円)	2016年度1-3Q累計		2017年度1-3Q累計		前年同期比
		(比率)		(比率)	
株式・ETF等	5,093	37%	5,711	38%	+12%
（現物）	(2,803)	20%	(3,431)	23%	+22%
（信用）	(2,290)	17%	(2,280)	15%	-0%
先物・オプション	726	5%	641	4%	-12%
投資信託	563	4%	605	4%	+7%
FX	1,234	9%	1,034	7%	-16%
金融収支	5,616	41%	6,562	43%	+17%
システム販売収支	-	-	64	0%	-
その他（CFD等）	574	4%	513	3%	-11%
純営業収益	13,808	100%	15,133	100%	+10%
(参考)二市場株式等個人委託売買代金/日(億円)		10,894		12,278	+13%
(参考)二市場信用買建期末残高(億円)		20,938		30,212	+44%

## 販管費（1-3Q累計）

- 1Q-2Qの広告宣伝費（TVCM放映）及び1Qに計上したシステム関連費の一時的な増加あり。

(単位：百万円)	2016年度 1-3Q累計	2017年度 1-3Q累計	前年同期比
<b>販管費合計</b>	<b>8,627</b>	<b>9,606</b>	<b>+11%</b>
取引関係費	3,743	4,085	+9%
広告宣伝費	828	949	+15%
その他	2,915	3,135	+8%
人件費	1,050	1,131	+8%
不動産関係費	1,461	1,689	+16%
事務費	758	735	-3%
減価償却費	1,039	1,485	+43%
租税公課	278	282	+1%
貸倒引当金繰入	0	0	-
その他	296	196	-34%
<b>(参考) システム関連費 ※</b>	<b>3,259</b>	<b>3,911</b>	<b>+20%</b>

※システム関連費 = 不動産関係費 + 事務費 + 減価償却費

## 決算概況（四半期推移）

- 純営業収益増収、販管費減少により、増収増益。経常利益は前四半期比+59%。
- 投資有価証券売却益239百万円あり、純利益は前四半期比+74%。

(単位：百万円)	2016年度				2017年度			前四半期比
	第1四半期 (4-6月)	第2四半期 (7-9月)	第3四半期 (10-12月)	第4四半期 (1-3月)	第1四半期 (4-6月)	第2四半期 (7-9月)	第3四半期 (10-12月)	
営業収益	5,610	4,727	5,462	8,028	5,965	5,421	6,681	+23%
受入手数料	2,584	2,186	2,556	2,515	2,496	2,377	2,915	+23%
金融収益	2,683	2,283	2,640	2,568	2,898	2,719	3,436	+26%
トレーディング損益	342	257	264	243	224	249	241	-3%
システム販売	-	-	-	2,700	346	73	87	+18%
金融費用	714	503	773	650	891	594	1,005	+69%
(金融収支 = 金融収益 - 金融費用)	1,969	1,779	1,866	1,917	2,006	2,124	2,431	+14%
システム販売費用	-	-	-	2,145	335	47	59	+24%
(システム販売収支 = システム販売 - システム販売費用)	-	-	-	555	10	25	28	+9%
純営業収益	4,896	4,224	4,688	5,232	4,738	4,778	5,616	+18%
販管費	2,893	2,946	2,788	2,907	3,548	3,111	2,947	-5%
営業利益	2,002	1,277	1,900	2,325	1,189	1,667	2,669	+60%
経常利益	2,031	1,350	1,949	1,986	1,208	1,697	2,694	+59%
税引前純利益	2,693	1,761	2,287	1,958	2,065	1,708	2,934	+72%
四半期純利益	1,862	1,215	1,580	1,348	1,423	1,166	2,026	+74%
(参考)二市場株式等個人委託売買代金/日(億円)	11,170	10,212	11,302	10,856	11,221	11,072	14,541	+31%

## 純営業収益（商品別：四半期推移）

- FXを除く全商品で増収。
- レンディング好調、信用買残高堅調の金融収支は5四半期連続増収となり、四半期ベース過去最高。

(単位：百万円)	2016年度				2017年度					前四半期比
	第1四半期 (4-6月)	第2四半期 (7-9月)	第3四半期 (10-12月)	第4四半期 (1-3月)	第1四半期 (4-6月)	第2四半期 (7-9月)	(比率)	第3四半期 (10-12月)	(比率)	
株式・ETF等	1,770	1,529	1,793	1,823	1,810	1,760	37%	2,140	38%	+22%
(現物)	(935)	(815)	(1,052)	(1,042)	(1,050)	(1,050)	22%	(1,329)	24%	+27%
(信用)	(835)	(713)	(740)	(781)	(759)	(710)	15%	(810)	14%	+14%
先物・オプション	276	220	230	203	197	182	4%	261	5%	+43%
投資信託	190	185	187	197	194	191	4%	218	4%	+14%
FX	473	372	389	341	348	348	7%	337	6%	-3%
金融収支	1,969	1,779	1,866	1,917	2,006	2,124	44%	2,431	43%	+14%
システム販売収支	-	-	-	555	10	25	1%	28	1%	+9%
その他(CFD等)	216	136	219	192	169	144	3%	199	4%	+38%
<b>純営業収益</b>	<b>4,896</b>	<b>4,224</b>	<b>4,688</b>	<b>5,232</b>	<b>4,738</b>	<b>4,778</b>	<b>100%</b>	<b>5,616</b>	<b>100%</b>	<b>+18%</b>

(参考)二市場株式等個人委託売買代金/日(億円)	11,170	10,212	11,302	10,856	11,221	11,072	14,541	+31%
(参考)二市場信用買建期末残高(億円)	23,686	22,073	20,938	26,256	25,488	25,929	30,212	+17%

## 販管費（四半期推移）

- 市況回復により変動費（取引関係費（その他））増加も、前四半期に実施したTVCM（広告宣伝費）の反動減及び不動産関係費の抑制により、販管費は前四半期比▲5%。

(単位：百万円)	2016年度				2017年度			前四半期比
	第1四半期 (4-6月)	第2四半期 (7-9月)	第3四半期 (10-12月)	第4四半期 (1-3月)	第1四半期 (4-6月)	第2四半期 (7-9月)	第3四半期 (10-12月)	
販管費合計	2,893	2,946	2,788	2,907	3,548	3,111	2,947	-5%
取引関係費	1,262	1,319	1,162	1,266	1,407	1,445	1,232	-15%
広告宣伝費	268	371	188	249	389	416	143	-65%
その他	993	947	974	1,016	1,017	1,028	1,089	+6%
人件費	332	338	379	377	369	360	401	+11%
不動産関係費	494	495	471	490	600	575	513	-11%
事務費	256	262	239	240	252	235	247	+5%
減価償却費	336	346	356	367	738	367	380	+4%
租税公課	105	82	90	92	112	70	99	+42%
貸倒引当金繰入	11	-11	0	0	0	0	0	-
その他	94	112	88	72	68	57	70	+24%
(参考)システム関連費※	1,087	1,105	1,066	1,098	1,590	1,177	1,142	-3%

※システム関連費 = 不動産関係費 + 事務費 + 減価償却費

- ROEは14.3%に上昇も、経営目標である20%には届かず。
- 収益強化、積極的な株主還元、資本効率の向上により、ROE20%達成を目指す。

	2016年度				2017年度		
	第1四半期 (4-6月)	第2四半期 (7-9月)	第3四半期 (10-12月)	第4四半期 (1-3月)	第1四半期 (4-6月)	第2四半期 (7-9月)	第3四半期 (10-12月)
<b>ROE</b> *当期純利益累計を年率換算して算出	17.2%	14.0%	14.2%	13.9%	13.5%	12.1%	14.3%
純営業収益経常利益率	41%	32%	42%	38%	25%	36%	48%
コストカバー率 (受入手数料/販管費)	89%	74%	92%	87%	70%	76%	99%
コストカバー率 (受入手数料/システム関連費)	238%	198%	240%	229%	157%	202%	255%
自己資本規制比率	515%	453%	481%	402%	443%	396%	421%

## Ⅲ. 当期の取り組み

---

## 当期の主な取り組み

### 当四半期（2017年10月～12月）における主な取り組み

10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ kabu.com APIとKDDIのIoT技術の連動による「株価連動LEDセンサー」をCEATECに出展</li> <li>✓ 主要ネット証券初の口座開設アプリ『スマート証券口座開設』が Google Playファイナンス部門新着無料で1位を獲得</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 当社お客さまのキャピタルゲイン課税額が過去最高を記録</li> <li>✓ クラウドベース音声サービス「Amazon Alexa」に対応する「カブコム for Alexa」提供開始</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ スマートフォン専用アプリ「kabu STATION for Android」をリリース</li> <li>✓ kabuステーション®にアクティブトレーダー向け「リアルタイム資産評価」をリリース</li> <li>✓ じぶん銀行 × カブドットコム証券同時口座開設スタート</li> <li>✓ ストレステスト機能を提供するリスク管理ツール「AIデリバティブ」をリリース</li> </ul>

### （参考）上期（2017年4月～9月）における主な取り組み

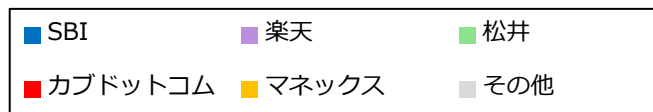
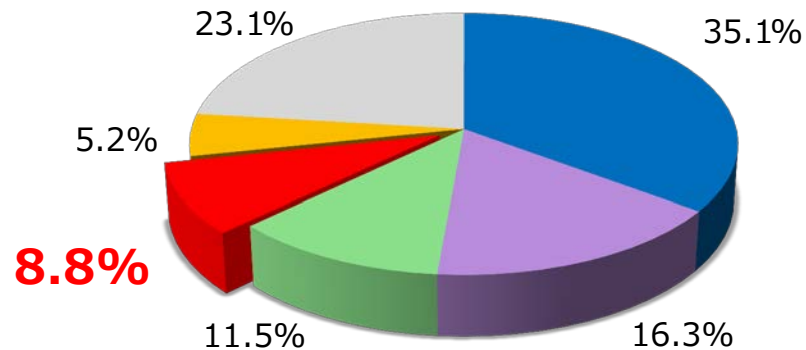
- ✓ 新イメージキャラクターに森高千里さんを起用（新TVCM「窓辺」篇 全国放映開始）
- ✓ auスマートパス向け投資情報配信アプリ「kabu smart for au」リリース
- ✓ kabu.study（カブスタディ）第三弾「自分に合った投資信託を見つけよう！」講座をリリース
- ✓ 画像認識AIと超高速リアルタイム処理を活用したチャートツール「AlpacaSearch for kabu.com」をリリース
- ✓ 人気スクリーニングツール「カブナビ®」がタブレット・MacOSに対応し大幅リニューアル
- ✓ 動意銘柄発見ツール「リアルタイム株価予測」が複数枚表示に対応！
- ✓ kabuステーション®専用アプリ「kabu STATION for iPhone」リリース
- ✓ Fintechスタートアップ「Good Moneyger」とゲーミフィケーションで金融投資教育を推進
- ✓ 決算短信を高速で自動分析するレポートサービス「xenoFlash for kabu.com」の提供を開始
- ✓ HDI「Webサポート格付け」および「問合せ窓口格付け」で最高評価の「三つ星」を獲得
- ✓ 人気バーチャルトレードアプリ「iトレ」のFX版に当社シストレFXのレートを提供
- ✓ 口座開設専用アプリ『スマート証券口座開設』をリリース
- ✓ 信託報酬実額シミュレーションツールの提供～投資信託の“コストの見える化”を実現～
- ✓ 投資信託の基準価額の変動要因分析をシミュレーションできるツールの提供開始



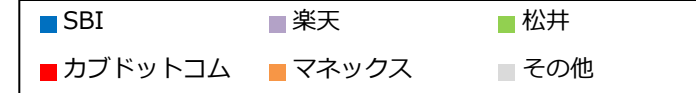
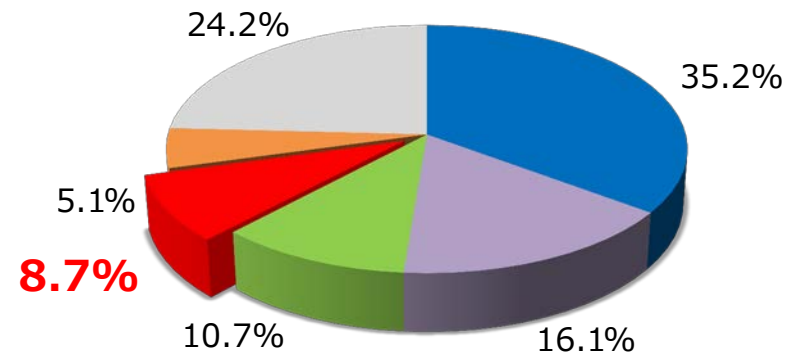
## リテール業務の取り組み ～株式等個人委託売買代金シェア～

- 株価上昇し株式個人は売り越し。年末要因もありネット証券シェアは減少。
- 当社株式等シェアは8.7%。

2017年度第2四半期 (7～9月)



2017年度第3四半期 (10～12月)



ネット証券 大手5社計 76.9%

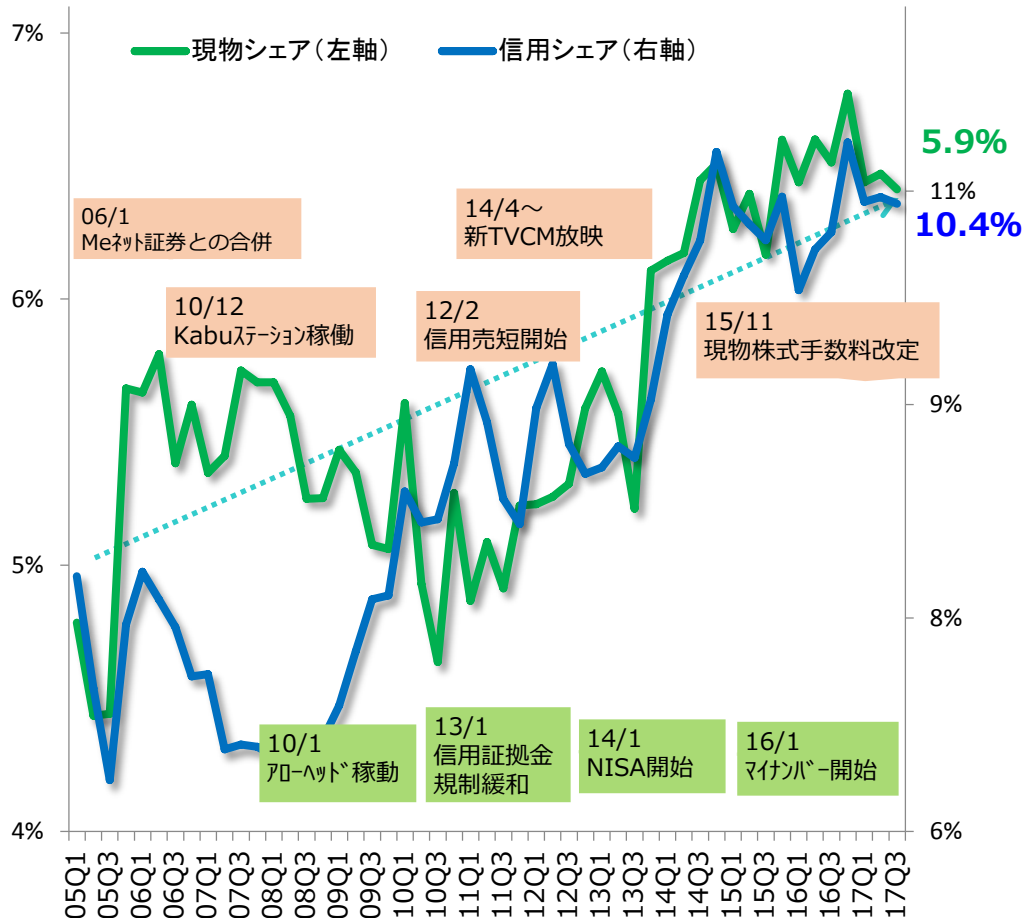
ネット証券 大手5社計 75.8%

※ 日本取引所グループ公表資料、各社公表資料より当社算出。 SBI証券は、対面取引の売買代金を含む。

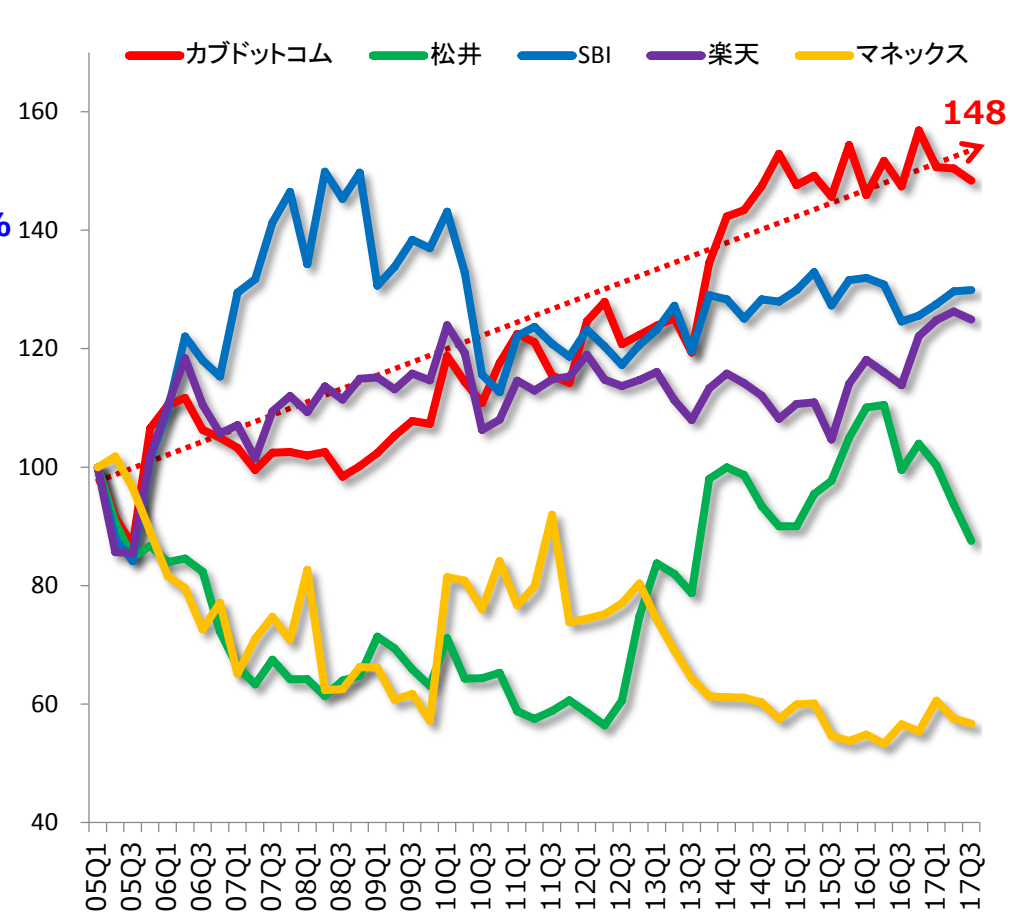
# リテール業務の取り組み ～株式等シェア推移（現物・信用）～

- 株式個人が売り越しとなる中、当社株式等シェアは横ばい。
- 現物シェア5.9%、信用シェア10.4%。

当社の現物シェア・信用シェア推移（2005Q1～2017Q3）



大手ネット証券5社株式等シェア推移（2005Q1を100とした指数表示）



※当社および各社シェアは、日本取引所グループ公表資料および各社HP公表資料より当社算出

## スマートフォンアプリのリリース

### kabuステーション® スマホアプリリリース

(iPhone版2017年7月3日、Android版2017年12月1日)

kabuステーション®(PC)のハイクオリティ機能はもちろんのこと、“よりスピーディーに”、“よりスマートに”、“より便利に”をコンセプトとしたUI/UX設計により、ストレスフリーな取引環境を実現。

#### ●よりスピーディーに

発注画面への遷移は、銘柄名を長押しするフリック操作で可能。

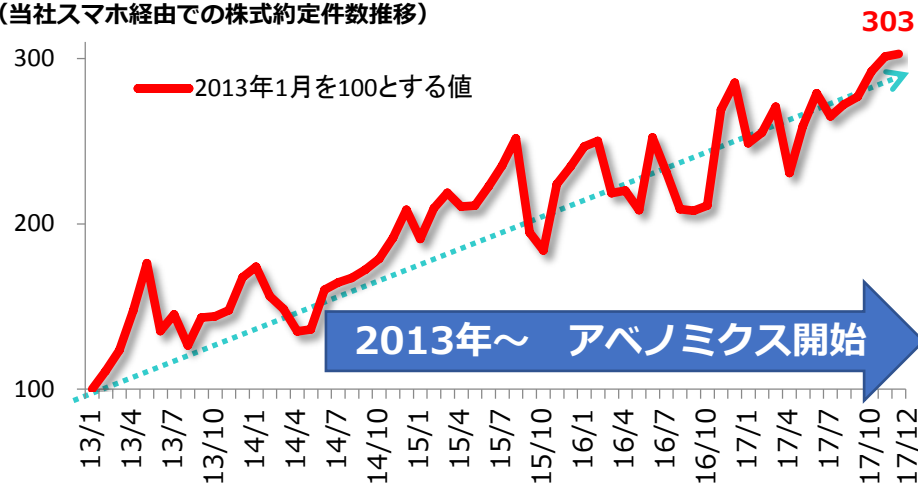
#### ●よりスマートに

2WAY注文画面では、最短1タップ売買が完了。

#### ●より便利に

銘柄検索時に、キーワードで検索いただける予測検索。

(当社スマホ経由での株式約定件数推移)



## 協働施策

### <金融投資教育>

JPX（日本取引所グループ）との協業により本格的なデリバティブ教育投資を開始

～ 投資教育カリキュラム「kabu.study」第五弾

### <KDDIとの協業>

KDDI株式会社のIoT技術の連動による「株価連動LEDセンサー」をCEATECに出展

～ 異業種間でのシナジー追求

### <クラウドベース音声サービス>

Amazonが提供するクラウドベースの音声サービス「Amazon Alexa」に対応する「カブコム for Alexa」の提供を開始

～ kabu.com APIの活用

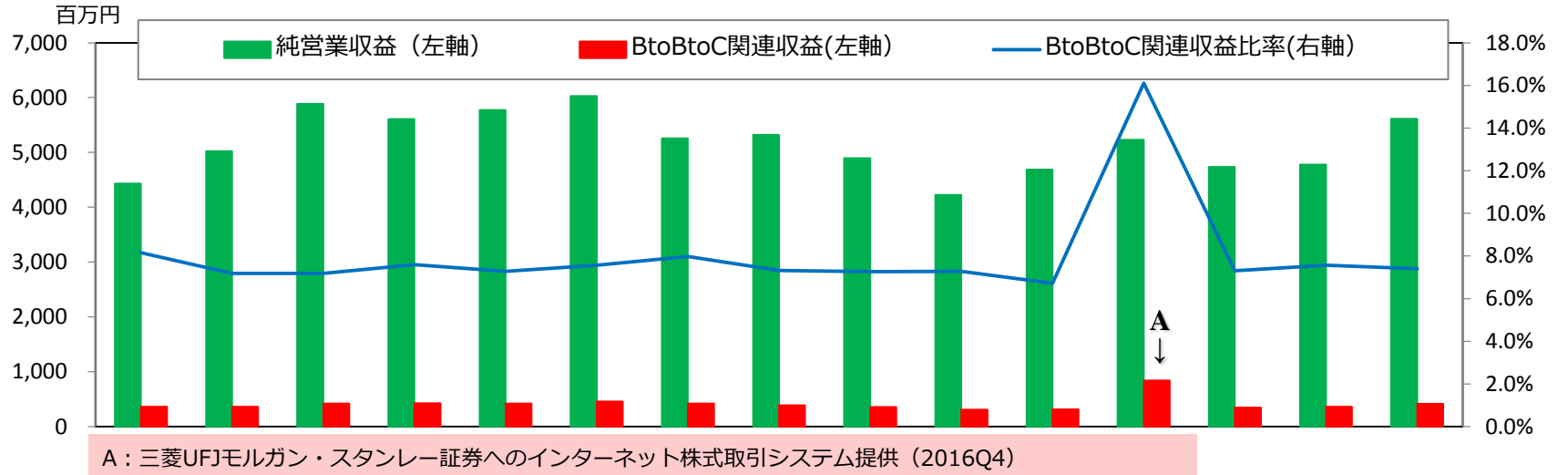
### <同時口座開設>

じぶん銀行×カブドットコム証券同時口座開設スタート

～ MUFG×KDDIのデジタルチャネルとして若年層の資産形成のサポートを強化

# BtoBtoC業務による実績推移

- 安定収益基盤のBtoBtoC関連収益は着実に増加。



金融商品仲介 (億円)	2014年度				2015年度				2016年度				2017年度			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	前Q比
純営業収益	4,435	5,026	5,887	5,610	5,776	6,028	5,260	5,324	4,896	4,224	4,688	5,232	4,738	4,778	5,616	+18%
BtoBtoC関連収益	362	361	423	426	420	456	419	389	356	308	315	842	346	361	415	+15%
BtoBtoC関連収益比率	8.2%	7.2%	7.2%	7.6%	7.3%	7.6%	8.0%	7.3%	7.3%	7.3%	6.7%	16.1%	7.3%	7.6%	7.4%	-0.2pt
二市場株式等個人委託売買代金/日	10,690	12,435	14,195	13,876	14,687	14,379	12,180	12,222	11,170	10,212	11,302	10,856	11,221	11,072	14,541	+31%

※ BtoBtoC関連収益 = ASP収益 + API収益 + オンライン商品仲介収益 + システム販売収支

※ ASP収益は、シストレFX全体収益に提供ASPの約定金額比率を乗じたもの

※ API収益は、株式委託手数料と金融収支にAPI経由の株式約定比率を乗じたものと、先物委託手数料にAPI経由の先物約定比率を乗じたものの合算値

※ オンライン商品仲介収益は、オンライン商品仲介提携商品の関連手数料と金融収支にオンライン商品仲介の株式約定金額比率を乗じたものの合算値

※ システム販売収支は、他社に提供するシステム開発および保守に関連する収支

## IV. 経営目標

---

## 経営目標 ～ROEと株主還元方針～

### 経営目標の基本的な考え方

「自己資本に対する利益率の向上」と「積極的な株主還元」を企業価値最大化の基盤に位置づけ。

### ROEと株主還元方針

- 利益率指標にROEを採用、**ROE20%**を経営目標。2017Q1～Q3累積の**ROEは12%**（年率換算）。
- 株主還元は「**総還元性向**」を重視、前々期からの**3カ年度で平均100%**を目標。
- 年間配当は「**配当性向50%かつDOE4%**」を下限、自己株式取得は機動的に実施。

### 株主還元実績

決算期	当期純利益	ROE	1株配当額			配当総額	配当性向	DOE	自己株取得	総還元額	総還元性向
			中間	期末	年間						
2013年度	66億円	17.0%	なし	9.0円	9.0円	31億円	48%	8.1%	なし	31億円	48%
2014年度	76億円	17.2%	なし	11.5円	11.5円	40億円	52%	9.1%	8億円	48億円	64%
2015年度	80億円	17.7%	6.0円	6.0円	12.0円	40億円	51%	9.1%	38億円	79億円	100%
2016年度	60億円	13.9%	6.0円	6.0円	12.0円	40億円	68%	9.4%	19億円	59億円	99%
2017年度（中間）	25億円	12.1%	6.0円	未定	未定	19億円	77%	4.7%	未定	19億円	77%

※2015年7月実施の株式分割について遡及修正を実施

※2016年度の自己株取得、総還元額、総還元性向は、2017/2/9～2017/4/5に取得した自己株式総額から算出

## 経営理念

## ■ 当社経営理念

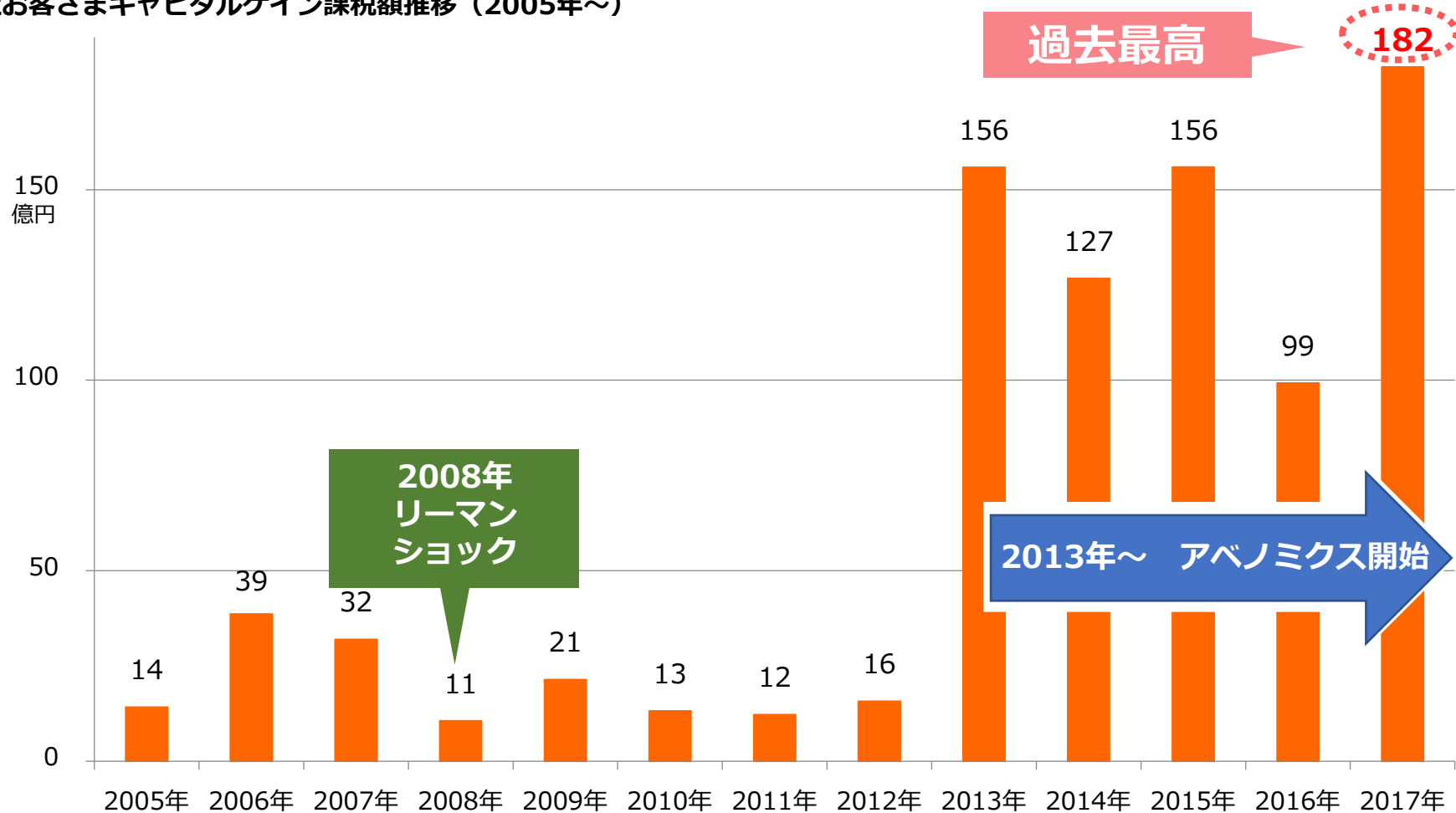
# 顧客投資成績重視の経営

個人投資家へ「**リスク管理追求型**」というコンセプトのもとに、利便性と安定性を徹底的に追求した独自サービスを提供するとともに、啓蒙を図り「新しい投資スタイル」を提供する。

## リテール業務の取り組み ～お客さま投資成績推移(キャピタルゲイン課税額)～

- 2017年における当社のお客さまの株式等売却益にかかる「譲渡益税源泉徴収額（以下、キャピタルゲイン課税額）」は過去最高を記録。

当社お客さまキャピタルゲイン課税額推移（2005年～）



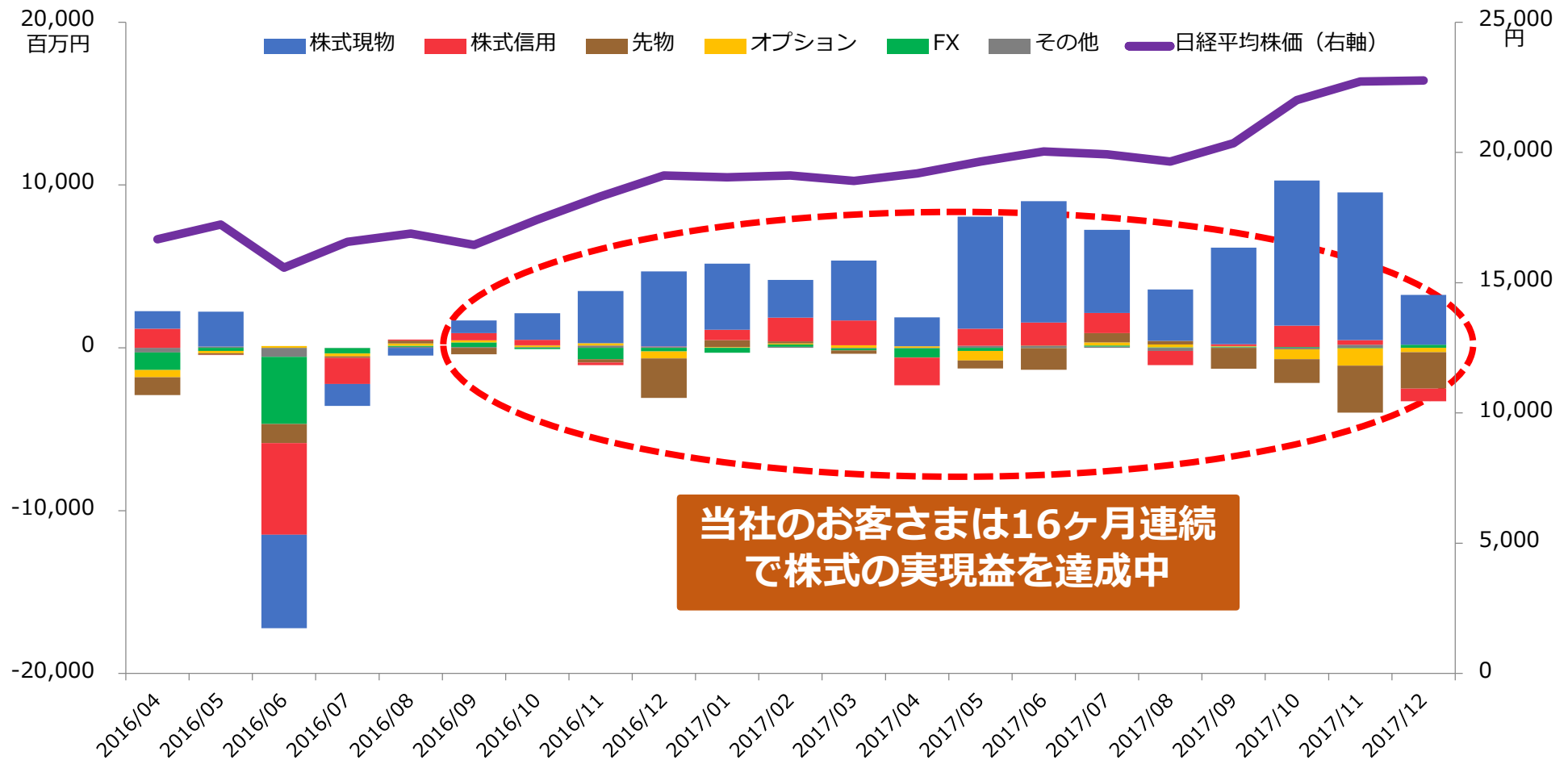
※当社お客さまキャピタルゲイン課税額は、当社特定口座（源泉あり）にて発生した株式等（ETF/REIT含む）の売却損益の源泉踏襲相当分（2018年現在：所得税15.315%、住民税5%）



## リテール業務の取り組み ～お客さま投資成績推移～

- 2016年9月より、当社のお客さまは16ヶ月連続で株式等の実現益を達成中。

当社お客さま実現損益月次推移（2016/04～2017/12）

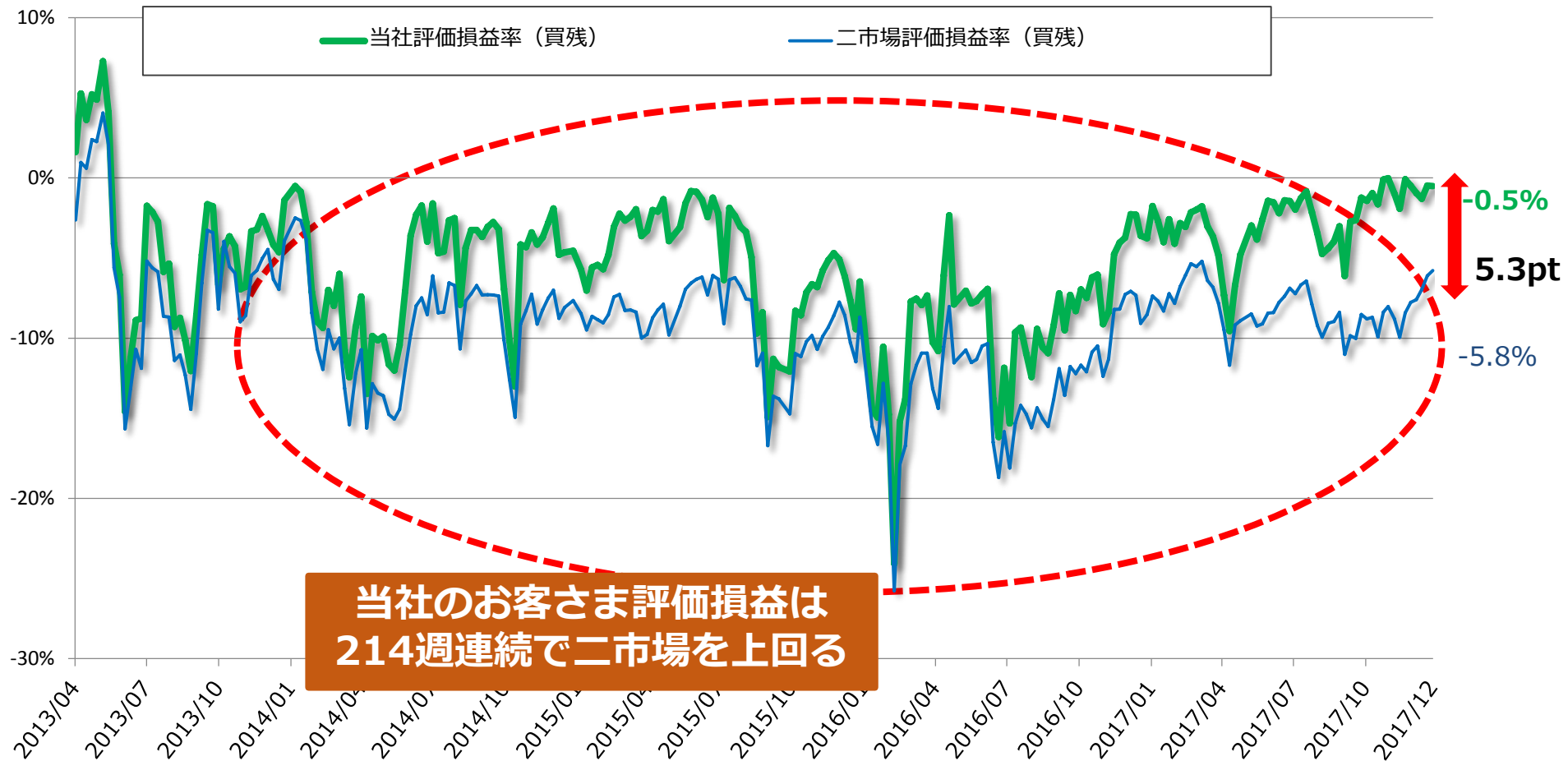


当社のお客さまは16ヶ月連続  
で株式の実現益を達成中

※当社お客さま実現損益は、約定日ベースでの確定損益（評価損益は含まず）。

## リテール業務の取り組み ～信用買建評価損益率推移～

- 当社信用買建評価損益率は214週連続で二市場を上回る（2013年10月以来）。
- 12月末週の信用評価損益率（買残）の二市場合計との格差は5.3pt。



※ 二市場評価損益率は、日本取引所グループ公表資料より当社算出。二市場、当社ともに各週最終営業日の信用評価損益率を表している。  
 ※ 信用評価損益率は、「評価損益率＝評価損益÷信用建玉残高」にて算出。

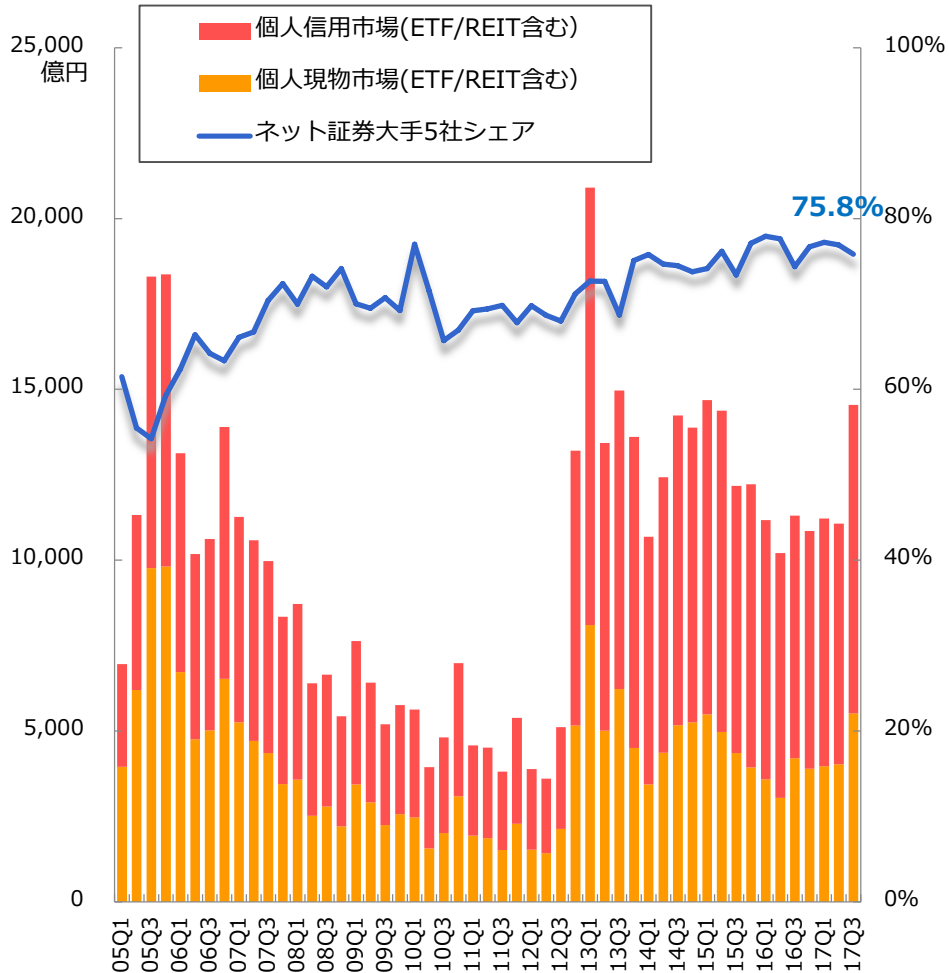
# Appendix

## V. リテール業務

---

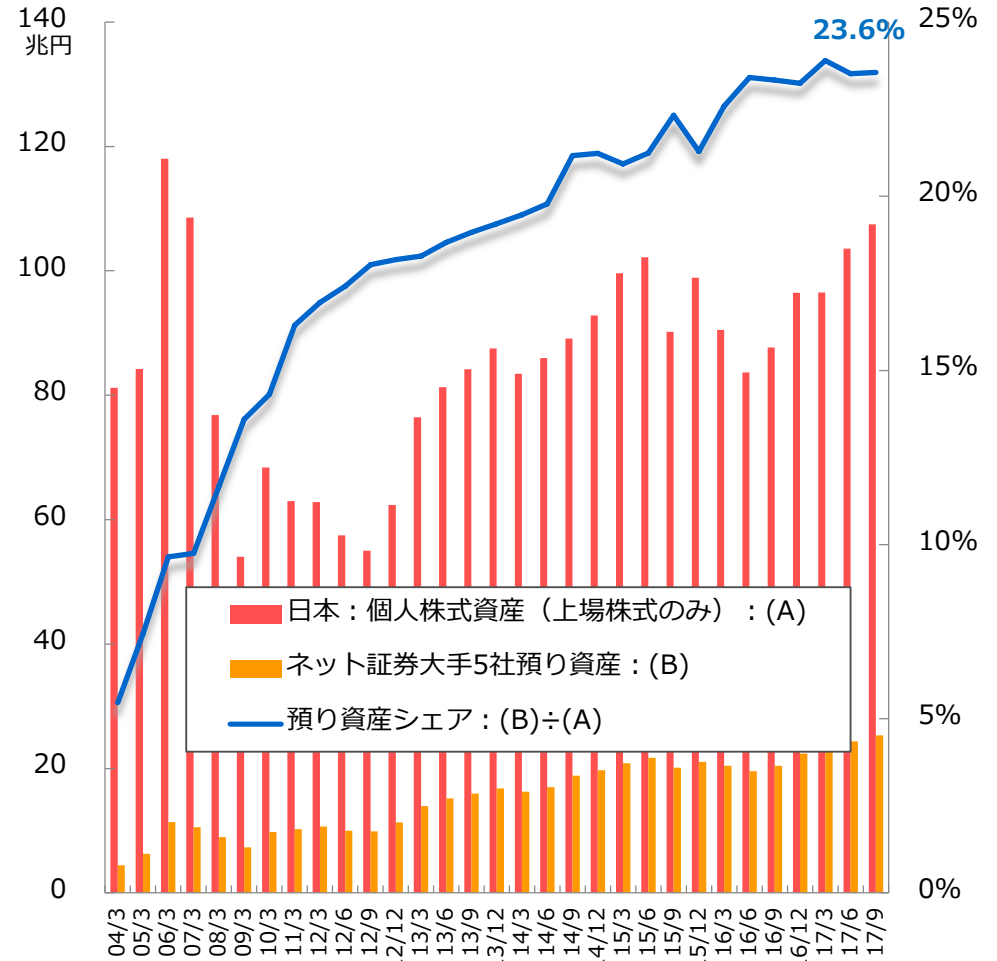
# 株式等個人市場ハイライト

二市場 1日あたり株式等個人委託売買代金と  
ネット証券大手5社シェア



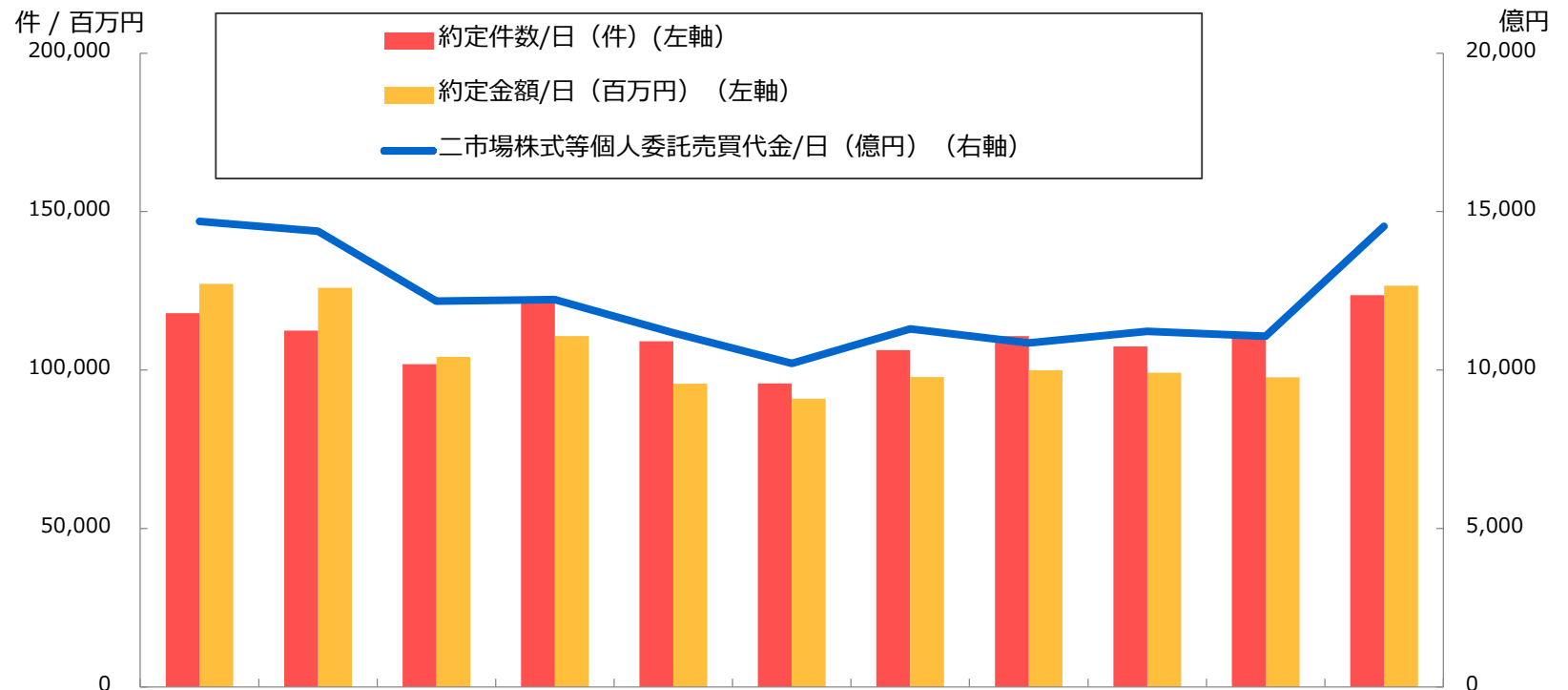
※日本取引所グループ、各社公表資料より当社算出

日本の個人株式資産とネット証券大手5社預り資産



※日本銀行『資金循環統計』、各社公表資料より当社算出  
※「日本：個人株式資産」は、上場株式のみの残高

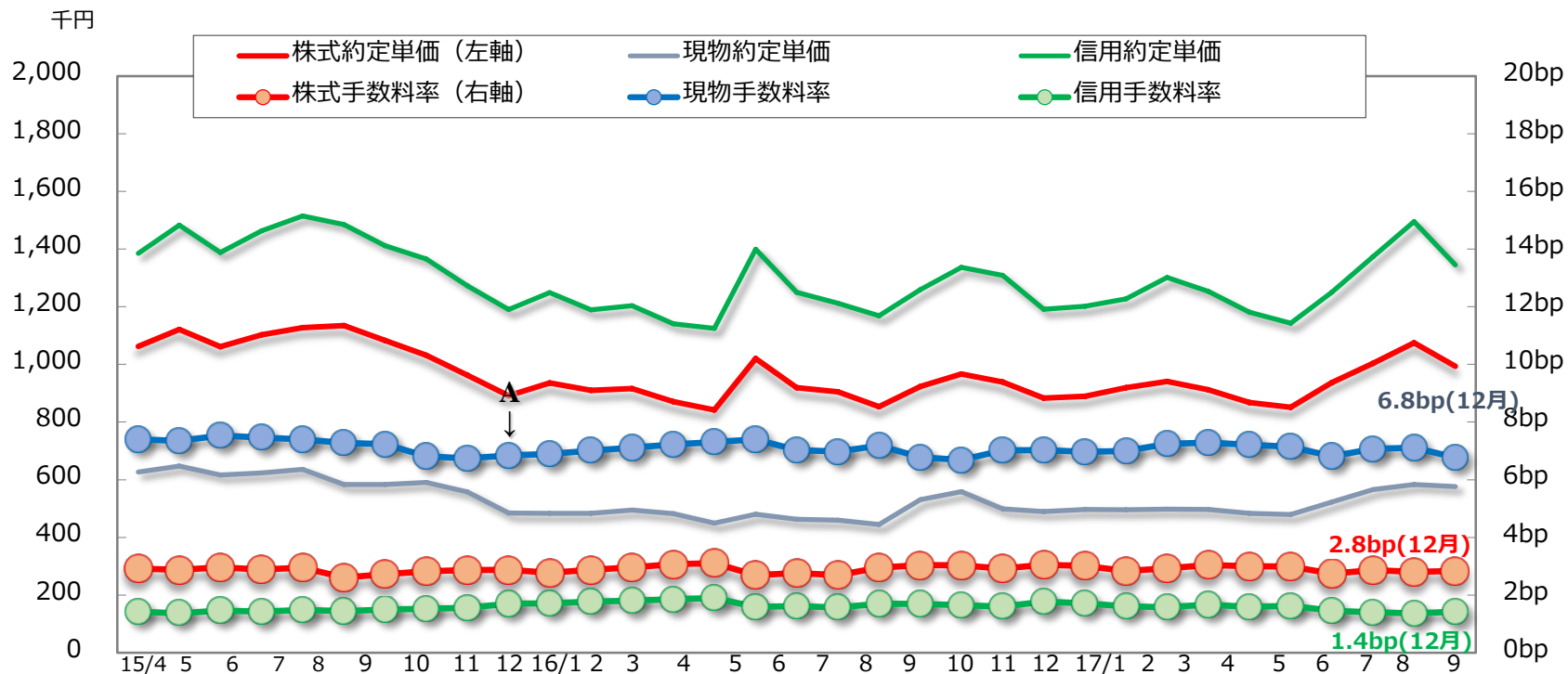
## 株式 ～約定件数・約定金額～



	2015年度				2016年度				2017年度			前Q比
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	
約定件数/日 (件)	117,916	112,410	101,865	121,350	109,125	95,786	106,277	110,757	107,438	110,509	123,608	+12%
約定金額/日 (百万円)	127,249	125,904	104,138	110,739	95,653	90,936	97,775	99,949	99,201	97,749	126,595	+30%
約定単価 (千円)	1,079	1,120	1,022	912	876	949	920	902	923	885	1,024	+16%
株式等個人市場/日 (億円)	14,687	14,379	12,180	12,222	11,170	10,212	11,302	10,856	11,221	11,072	14,541	+31%

# 株式 ～手数料率～

株式手数料率の月次推移



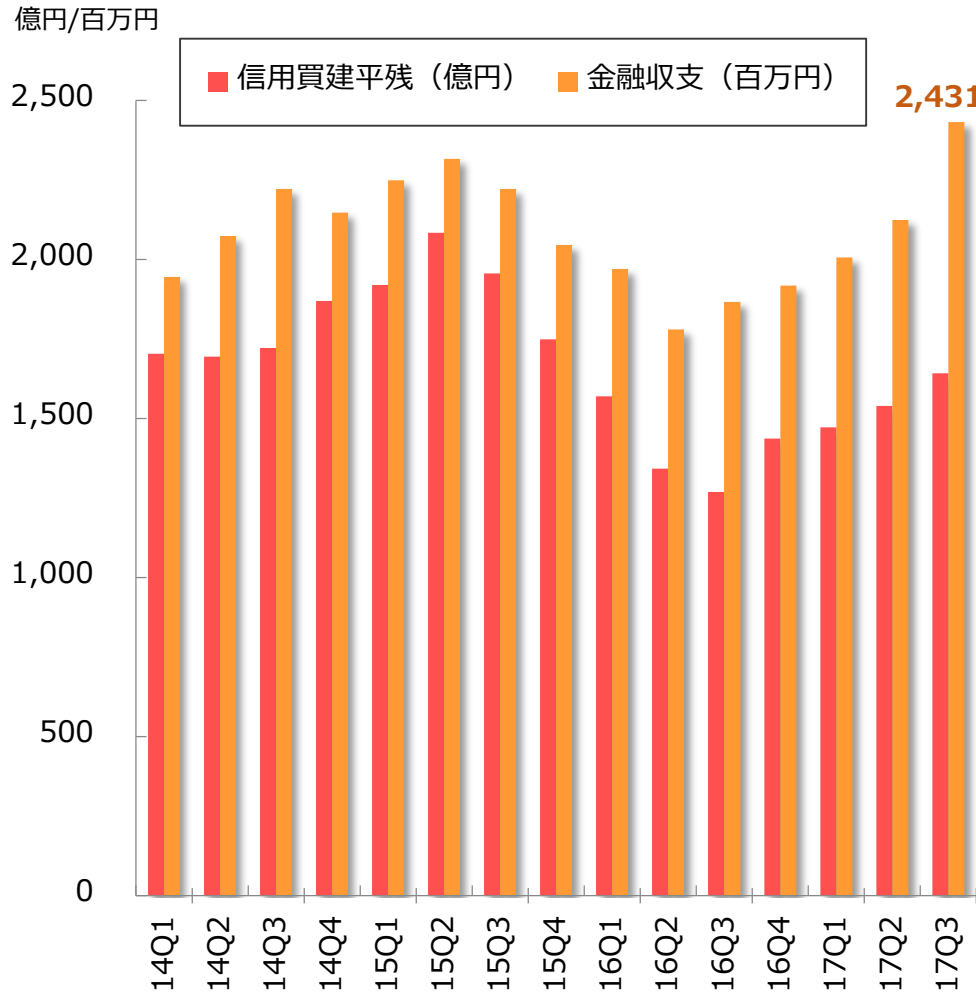
A: 少額約定金額帯の現物株式手数料引き下げ (2015/11)

		2015年度				2016年度				2017年度		
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
手数料率 ※	株式	2.9bp	2.8bp	2.8bp	2.8bp	3.0bp	2.7bp	3.0bp	3.0bp	2.9bp	2.9bp	2.8bp
	(現物)	(7.4bp)	(7.4bp)	(6.9bp)	(6.9bp)	(7.2bp)	(7.1bp)	(6.8bp)	(7.0bp)	(7.2bp)	(7.1bp)	(7.0bp)
	(信用)	(1.4bp)	(1.4bp)	(1.5bp)	(1.7bp)	(1.8bp)	(1.6bp)	(1.7bp)	(1.7bp)	(1.6bp)	(1.6bp)	(1.4bp)
現物比率 (当社)		24.9%	23.3%	23.7%	21.6%	22.3%	20.4%	25.9%	24.4%	23.7%	24.6%	25.8%

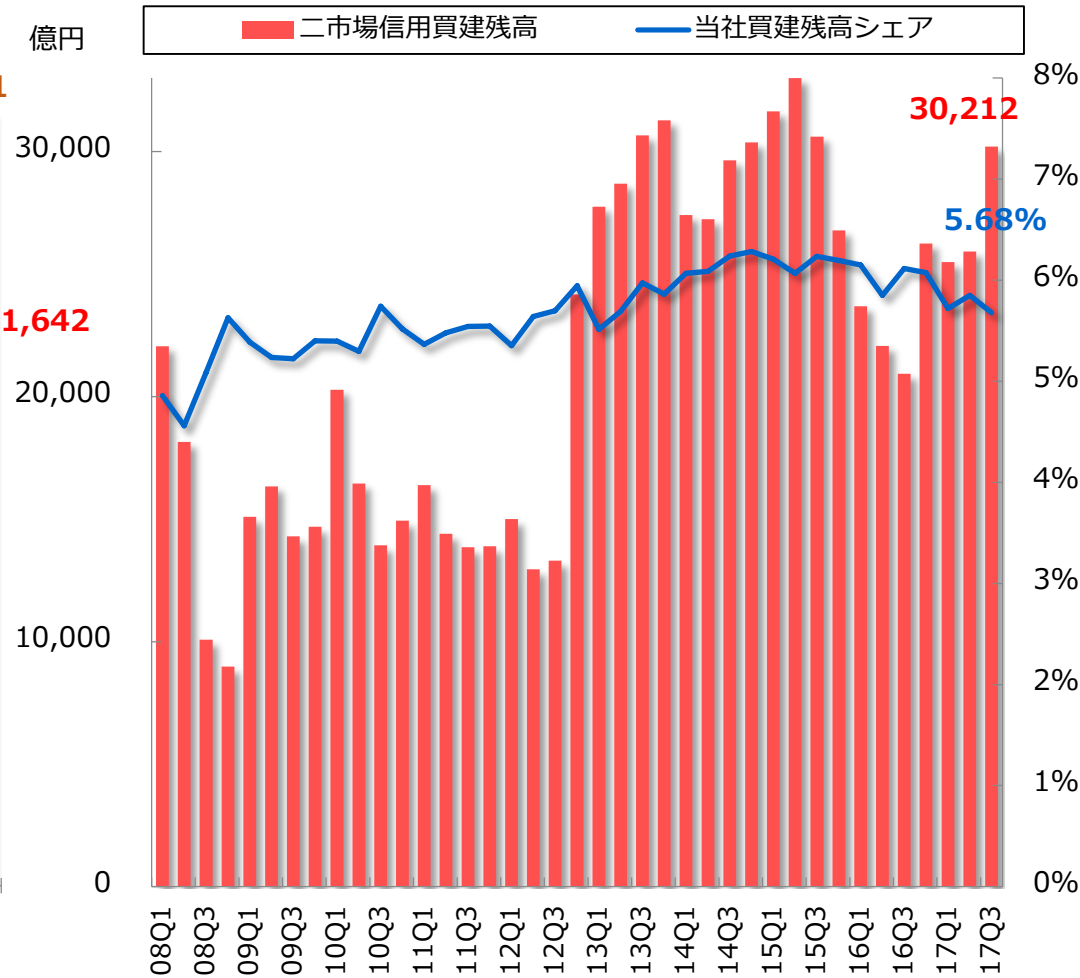
※ 手数料率は、キャッシュバックキャンペーンにおけるお客さまへのキャッシュバック金額を含まずに算出

# 金融収支・信用建玉残高

信用買建平残と金融収支



二市場信用買建期末残高と当社シェア

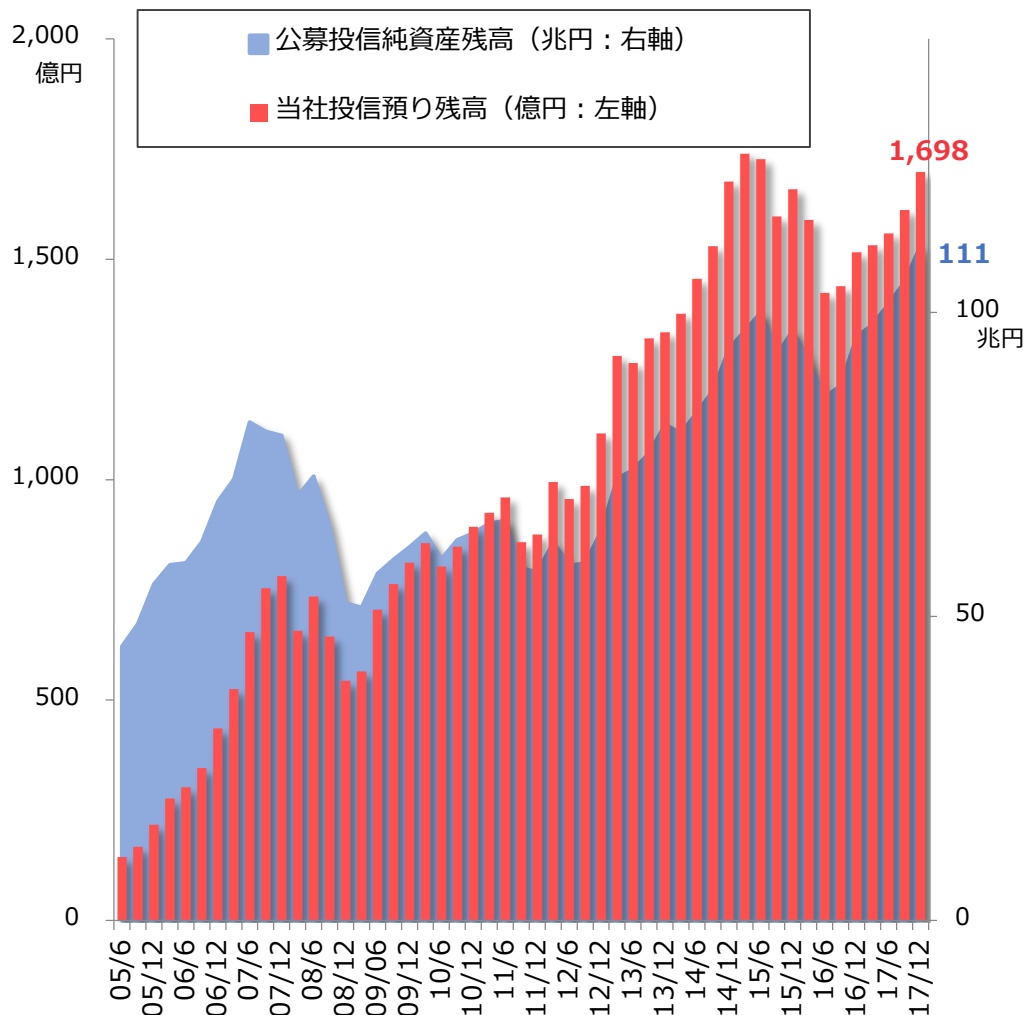


※二市場信用買建期末残高は日本取引所グループ公表数値であり、各四半期最終週の申込日ベースの残高。

※当社信用買建平残は当社信用取引貸付金の日次残高の単純平均値であり、当社シェアは二市場の申込日に対応する約定日ベースでの当社信用残高で算出

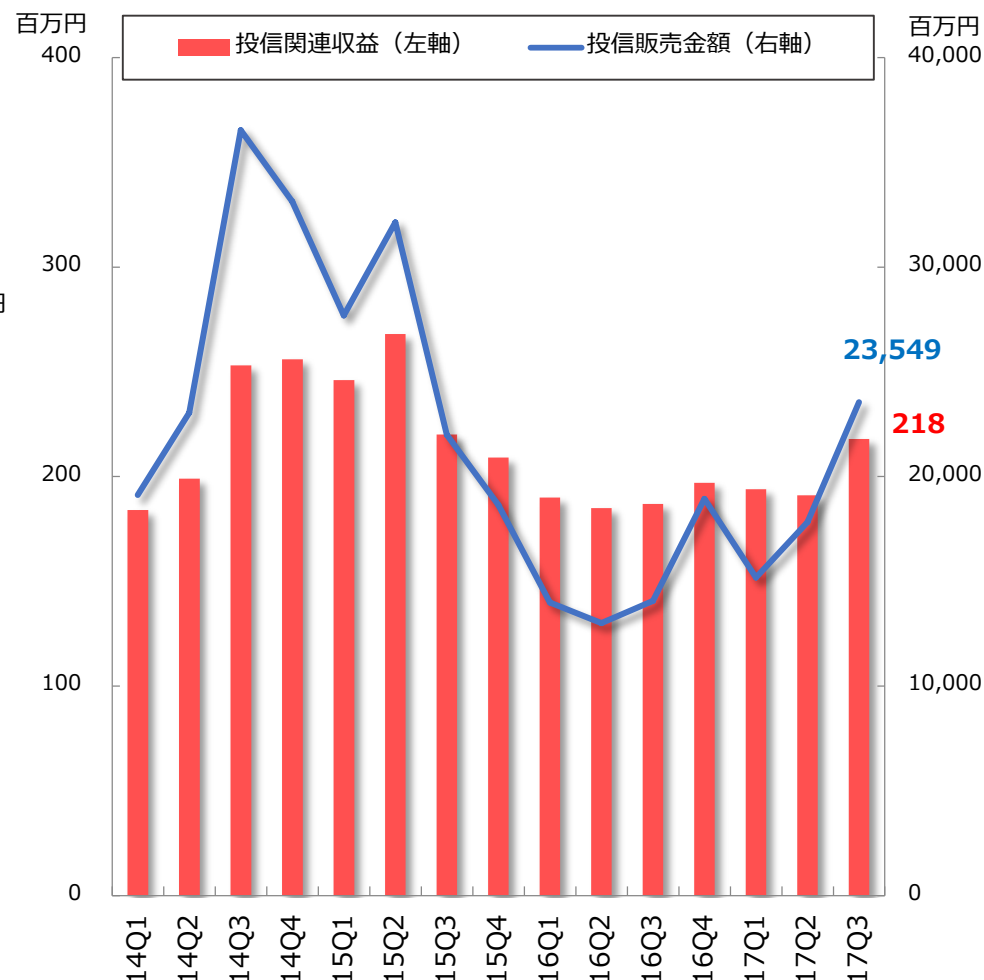
# 投資信託

投資信託預り資産残高



※ 公募投信純資産残高は投資信託協会公表資料より作成  
 ※ 投信預り残高は四半期末の残高、時価ベースにて算出。MRFは除く。

投信販売金額と投信関連収益



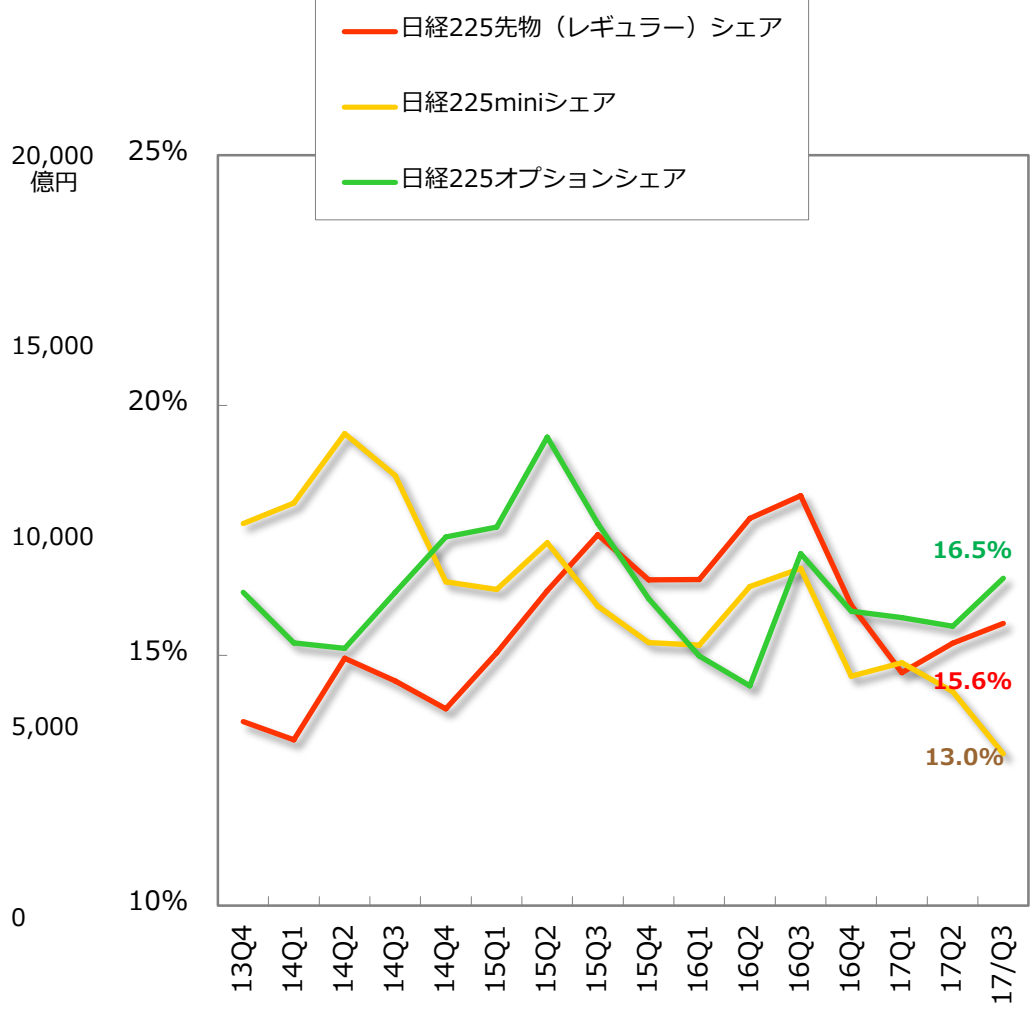
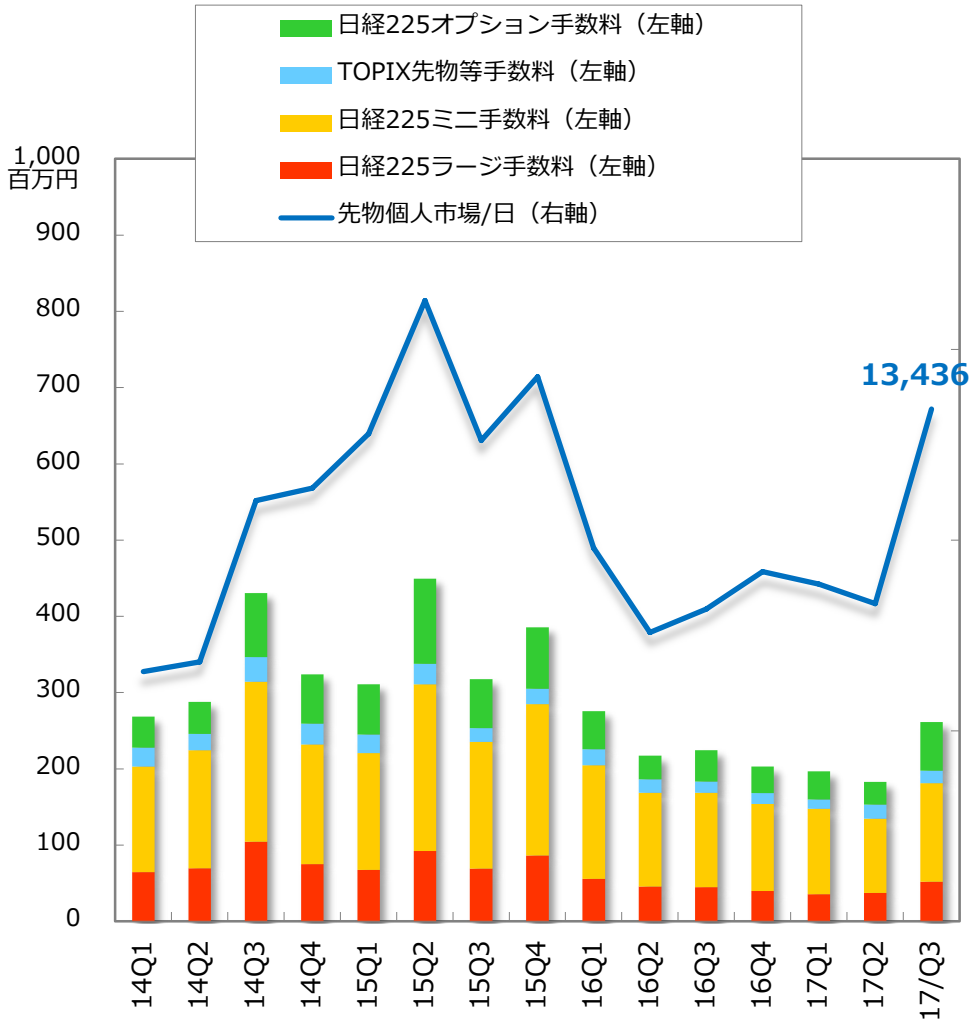
※ 投信関連収益 = 投信募集手数料 + 投信信託報酬  
 ※ 投信販売金額には、外貨建MMF、MMF、中期国債ファンドも含む



# 先物・オプション

先物・オプション手数料

先物・オプションシェア

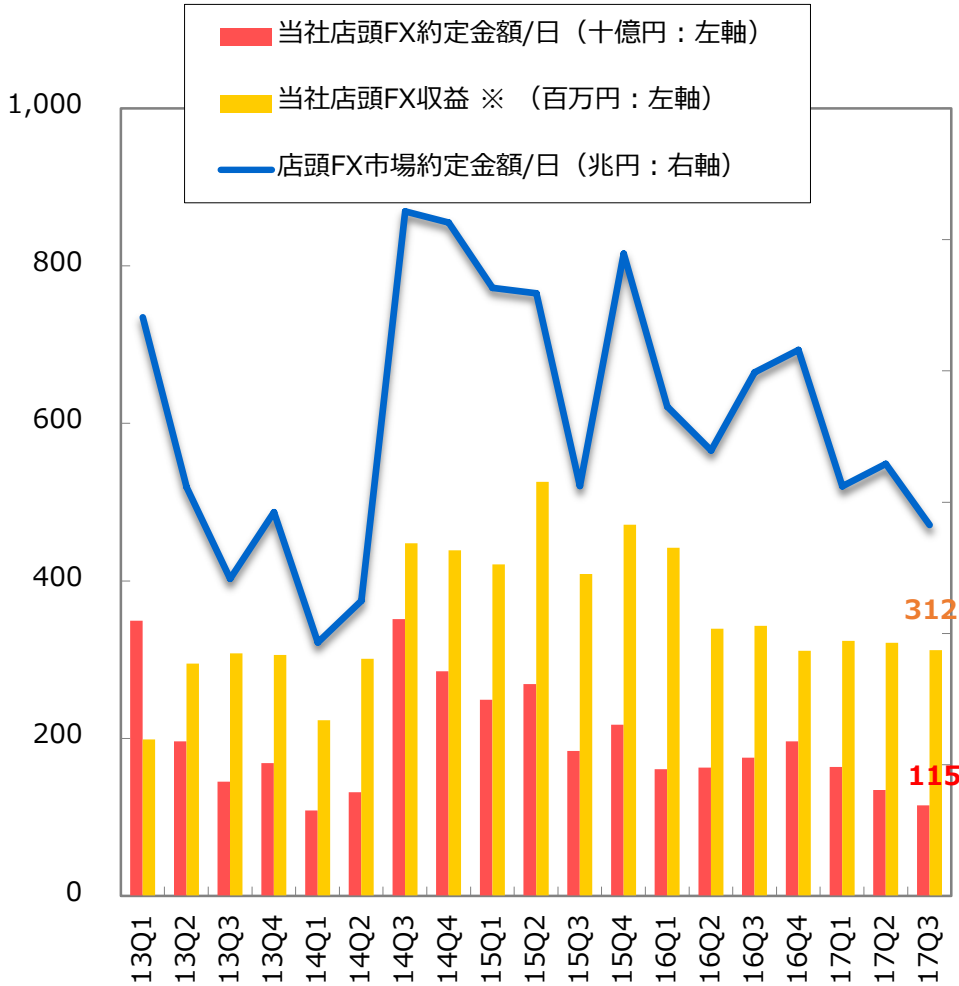


※日本取引所グループ公表資料より当社算出。先物個人市場は、日経225先物（レギュラー）と日経225miniの個人委託売買代金の合算値

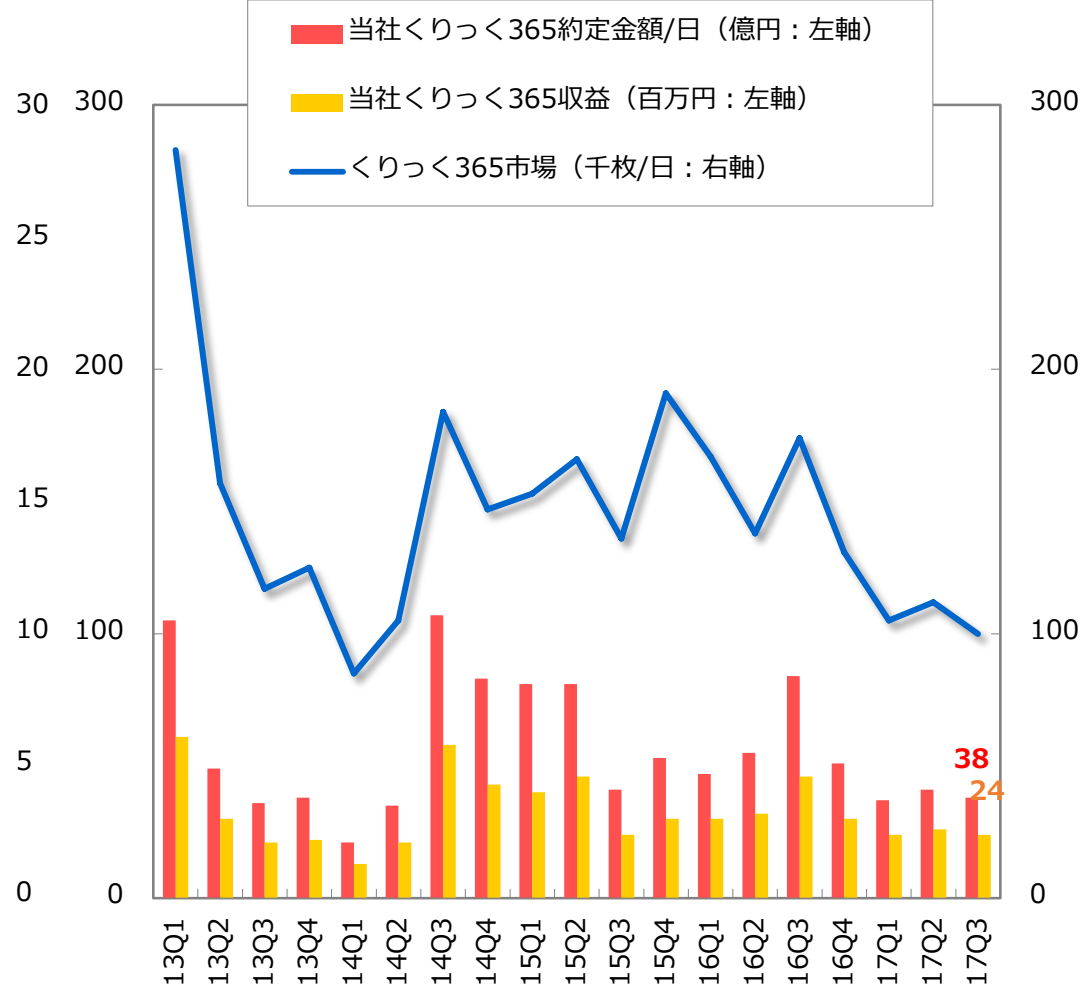
※シェアは、商品毎の個人委託売買代金に占める割合

# 外国為替証拠金取引（店頭FX・取引所FX）

当社店頭FX収益および約定金額



当社くりっく365収益および約定金額



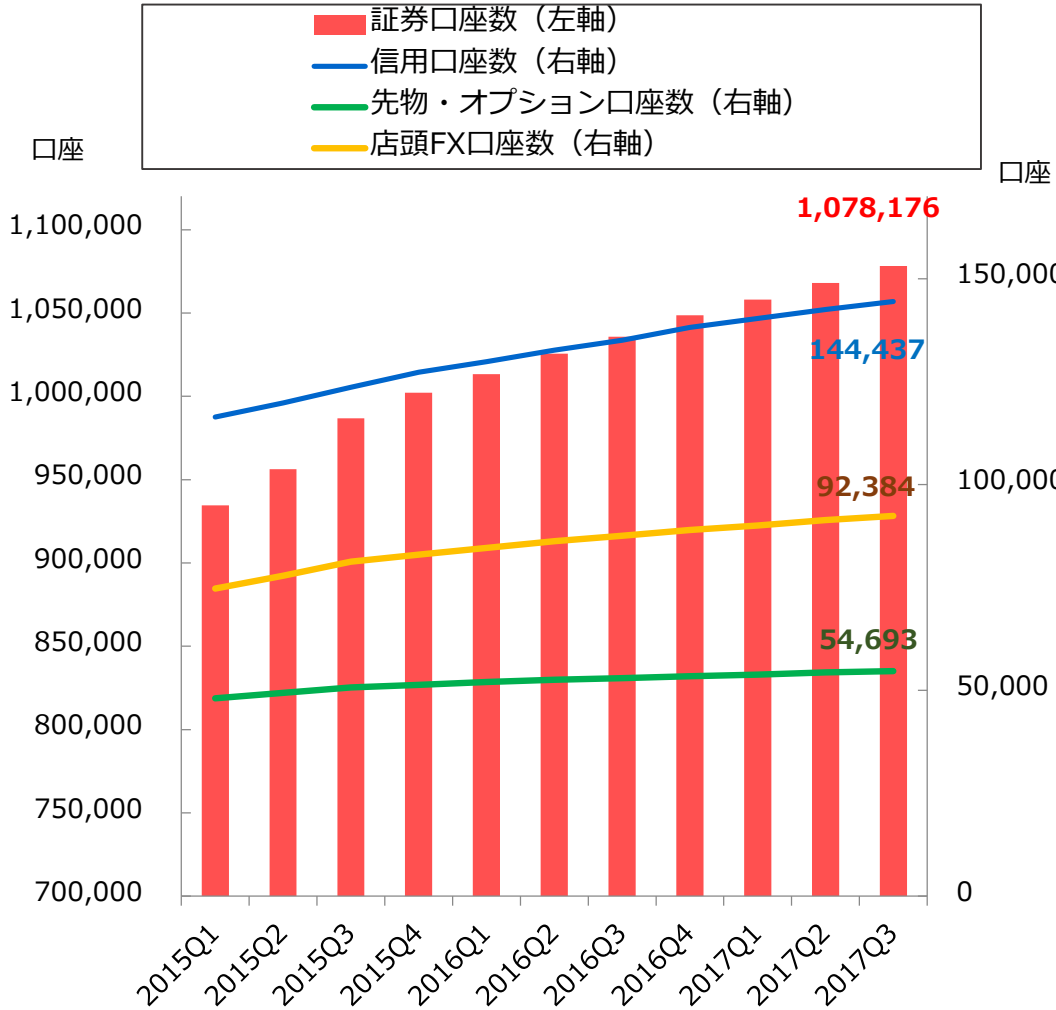
※ 「当社店頭FX収益」は実態のネット収支（店頭FXの収益からシストレFXのシステム提供先への支払手数料を控除した金額）で記載しています

※ 金融先物取引業協会、東京金融取引所公表資料より当社作成

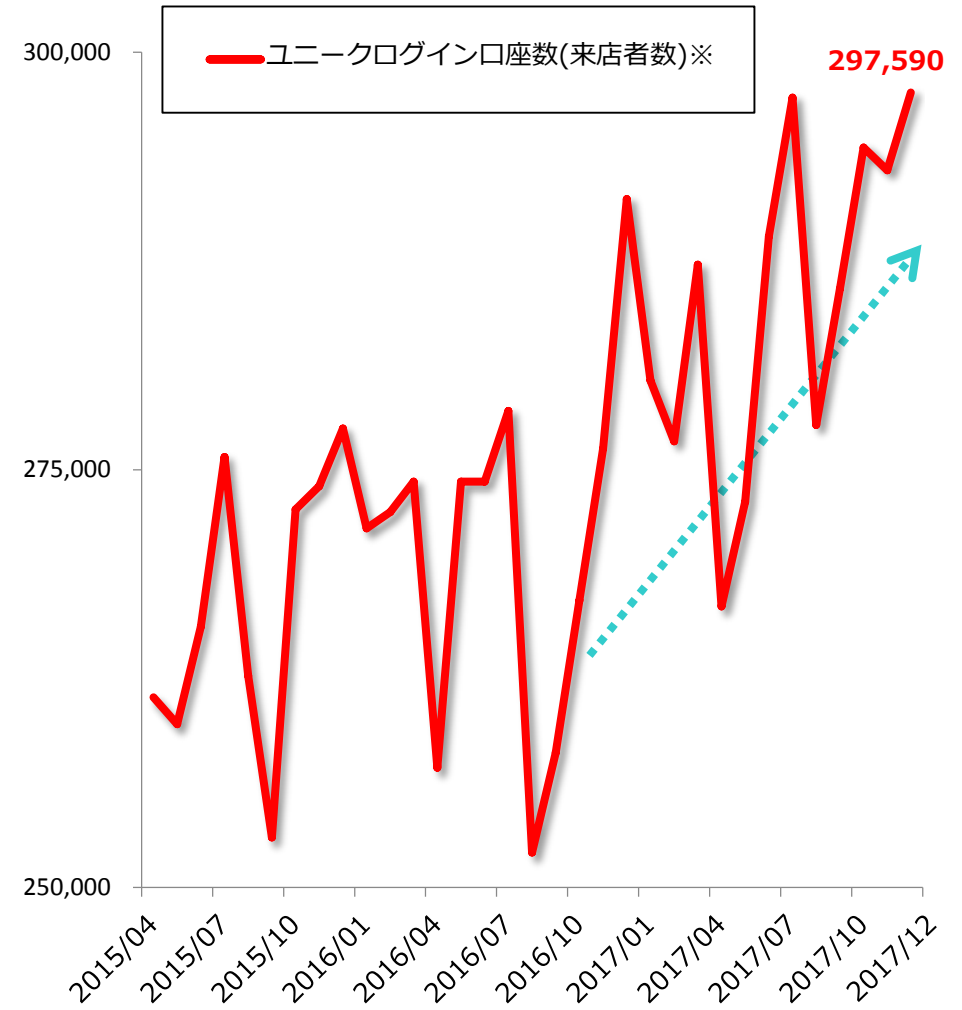
※ 「店頭FX」には、シストレFXを含みます。

# 口座数

当社口座数推移

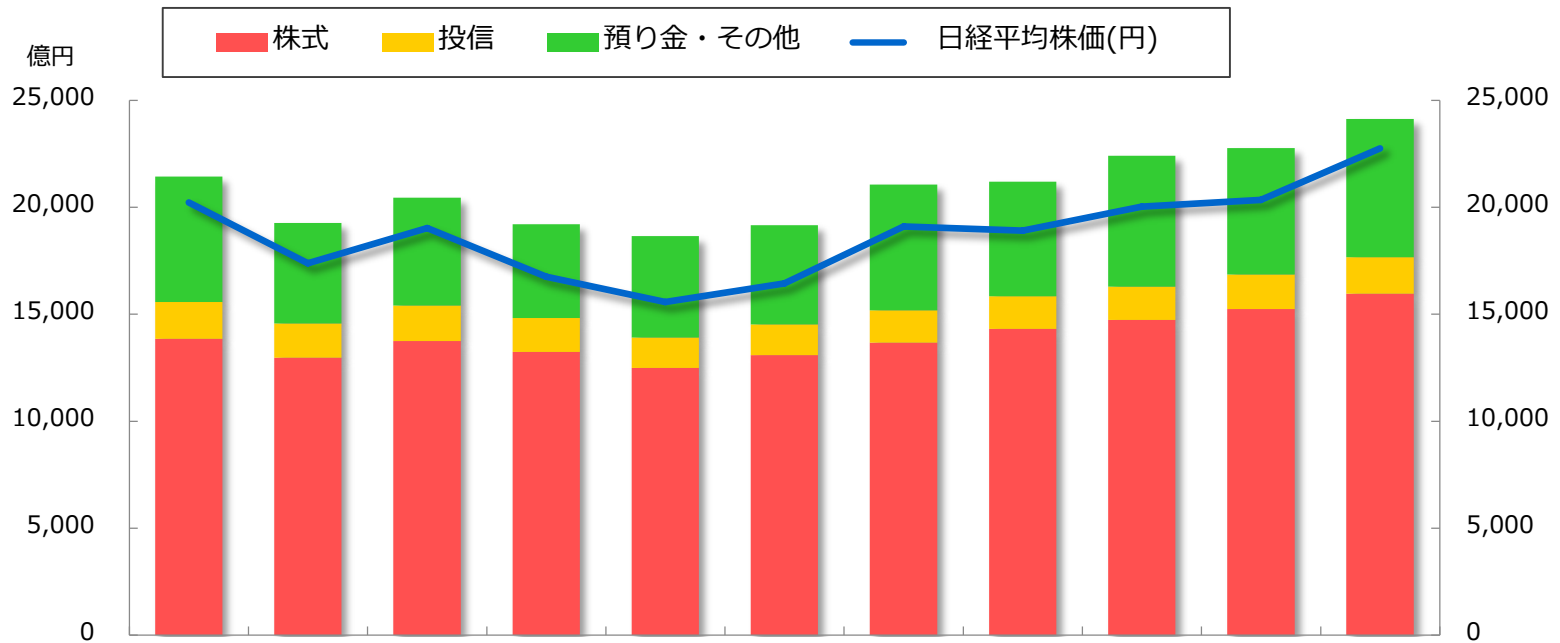


当社ユニークログイン口座数（来店者数）推移



※当社ユニークログイン口座数（来店者数）とは、月間に一度以上当社お客さまページにログイン（来店）したことがある口座数です

## 預り資産



(単位: 億円)	2015年度				2016年度				2017年度				
	Q1末	Q2末	Q3末	Q4末	Q1末	Q2末	Q3末	Q4末	Q1末	Q2末	Q3末	(比率)	前Q比
株式等	13,854	12,973	13,755	13,234	12,491	13,091	13,672	14,316	14,738	15,252	15,971	66%	+5%
投信	1,727	1,597	1,659	1,589	1,424	1,439	1,516	1,532	1,559	1,612	1,698	7%	+5%
預り金・その他	5,855	4,709	5,039	4,383	4,738	4,637	5,886	5,355	6,115	5,908	6,462	27%	+9%
合計	21,437	19,280	20,454	19,206	18,655	19,168	21,075	21,204	22,412	22,772	24,131	100%	+6%
(参考) 日経平均株価終値(円)	20,235	17,388	19,033	16,758	15,575	16,449	19,114	18,909	20,033	20,356	22,764		+12%

※預り資産は時価評価ベース

## 株券差引入庫額

(単位：百万円)

	2015年度				2016年度				2017年度		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
A証券	194	-117	94	273	-24	93	122	32	57	-17	26
B証券	3,548	-2,194	167	1,294	3,472	-3,133	1,838	977	-6,359	177	110
C証券	-409	-2,460	-206	666	76	437	-461	-619	5	-872	373
D証券	358	6	177	296	103	35	-122	114	72	127	255
ネット大手4社計	3,691	-4,765	232	2,529	3,627	-2,567	1,377	505	-6,224	-584	766
新興ネット2社計	1,287	2,181	1,033	4,145	3,505	5,244	3,539	9,253	8,159	7,294	6,269
ネット6社計 ①	4,978	-2,584	1,265	6,675	7,133	2,676	4,917	9,758	1,934	6,710	7,035
X証券	1,141	839	783	387	75	120	736	215	257	917	280
Y証券	97	725	98	-46	250	42	-2	-196	-754	-34	16
Z証券	1,260	597	70	2,741	421	432	613	-3,398	957	272	387
対面大手3社計 ②	2,499	2,161	952	3,081	747	596	1,346	-3,379	461	1,155	683
その他証券・信託銀行③	5,508	3,292	953	-2,039	734	41	-480	3,788	1,908	2,061	3,324
振替差引入庫額 ①+②+③	12,987	2,869	3,171	7,718	8,616	3,314	5,783	10,166	4,303	9,927	11,043

※ 株式差引入庫額は、「他社から当社への入庫額－当社から他社への出庫額」にて算出

※ 入庫額・出庫額は、当社入出庫管理データを使用し、当社入出庫処理月の月末時点の時価にて換算

# 資産形成 (プレミアム積立<sup>®</sup>)

## ■プレミアム積立<sup>®</sup>口座買付金額ランキング(2017年12月)

順位	プチ株	投信
1	トヨタ自動車	ひふみプラス ★
2	ANAHD☆	ニッセイ外国株式インデックスF★
3	オリエンタルランド☆	世界経済インデックスファンド★
4	MUFG☆	Sストリート外国株式インデックス★
5	武田薬品	eMAXIS 新興国株式インデックス★
6	キヤノン	eMAXIS バランス (8資産均等型) ★
7	日産自動車☆	eMAXIS 先進国株式インデックス★
8	イオン☆	トピックスオープン★
9	みずほFG	インデックスファンド225★
10	三菱商事	SMTグローバル株式インデックスOP★
参考	カブドットコム (11位) ☆	—

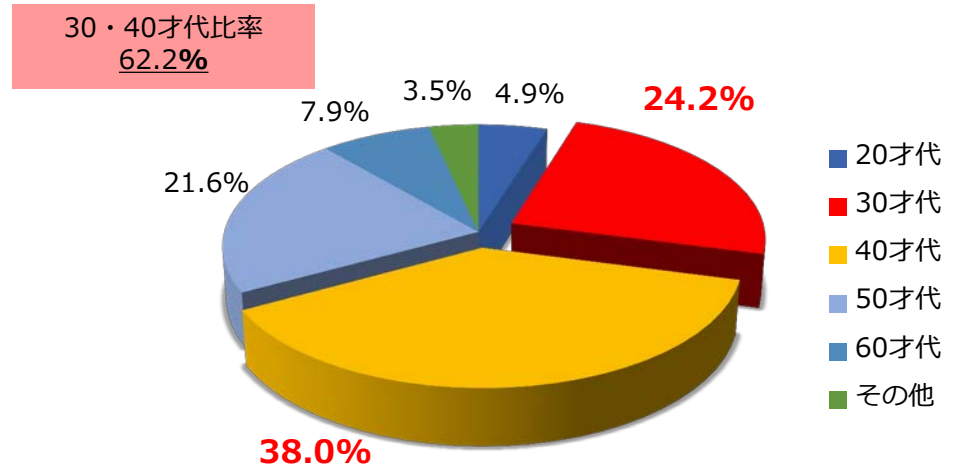
☆株主優待のある株式

★ノーロード (手数料無料) の投資信託

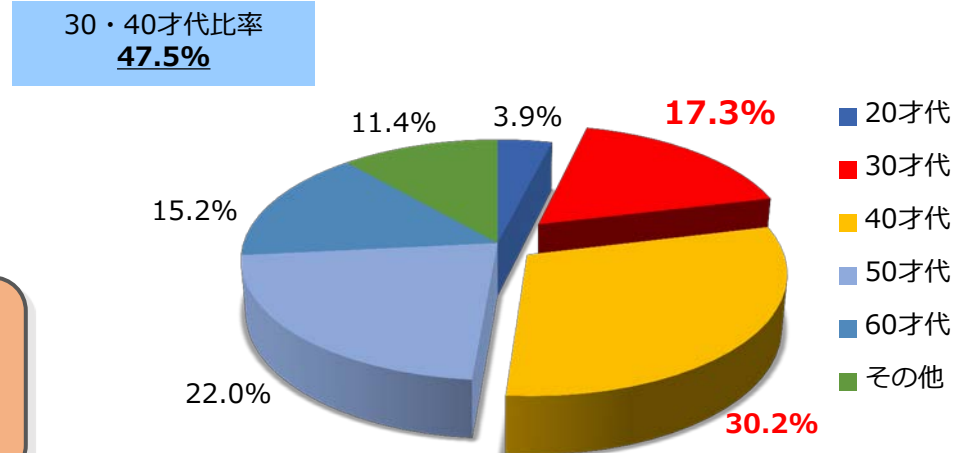
## ■当社プレミアム積立<sup>®</sup>の特徴

- ・ 単元未満株式での積立可能
- ・ 500円から積立可能
- ・ スマホ・タブレットからでも積立可能
- ・ 投信の積立可能本数は1,016本。うちノーロードは583本 (2017年12月末現在)

## ■年代別プレミアム積立<sup>®</sup>口座比率 (2017年12月)



## ■年代別当社口座比率 (2017年12月)



# NISA (少額投資非課税制度)

## ■ NISA口座の状況 (2017年12月末時点)

**NISA口座** : 153,963口座 (前年同期比+15.3%)  
**稼働顧客数** : 62,993口座 (前年同期比+ 5.5%)  
**稼働率** : 40.9% (前年同期比 - 3.8pt)  
**平均投資額** : 76.3万円 (前年同期比 + 1.0%)

※「稼働顧客数」は、2017年に1円でもNISA口座で買付をおこなった口座数

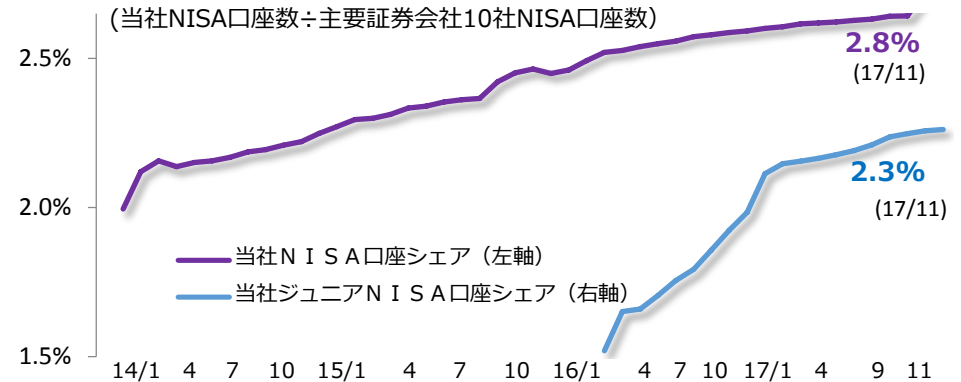
## ■ 人気銘柄 (NISA買付金額ランキング : 2017年12月)

順位	株式	投信
1	すかいらく☆	ニッセイ外国株式インデックスファンド★
2	日産自動車☆	ワールド・リート・オープン★ (毎月決算型)
3	みずほFG	ニッセイ日経225インデックスファンド★
4	KDDI☆	eMAXIS バランス★ (8資産均等型)
5	SUBARU	ニッセイグローバル好配当株式プラス★ (毎月決算型)
参考	カブドットコム (21位) ☆	—

☆株主優待のある株式

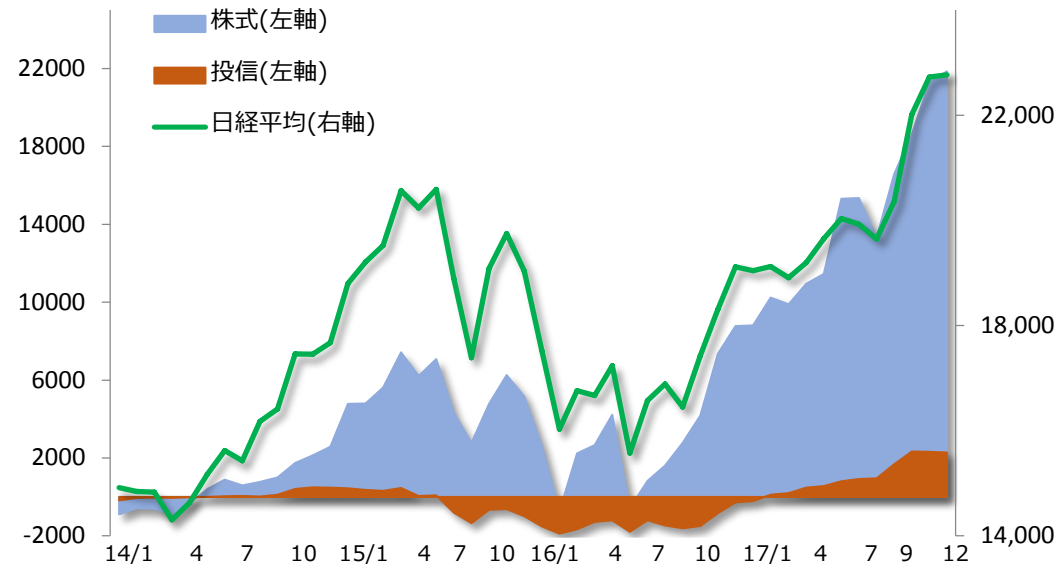
★ノーロード (手数料無料) の投資信託

## ■ 主要証券会社10社内における当社NISA口座比率推移



※ 日本証券業協会公表数値より当社作成

## ■ NISA口座損益推移 (実現損益+評価損益)



※「実現損益+評価損益」は、株式および投信の{(各月末までの売却累計金額)+(各月末時点での時価評価額)}-(各月末までの買付累計金額)で計算

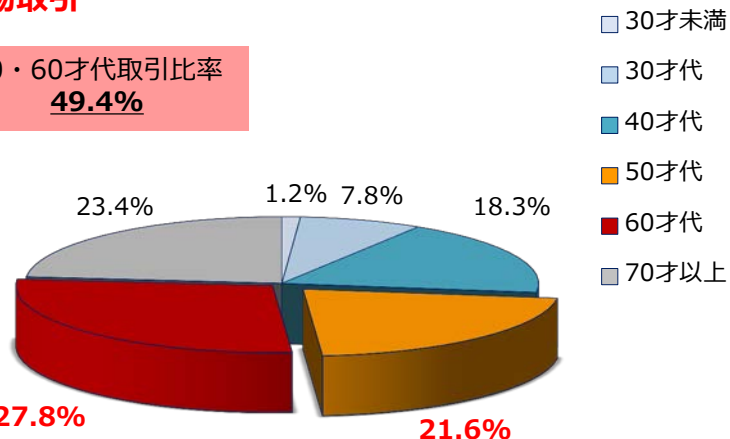
# 年代別株式取引の状況 ～ 50代～60代の取り込み～

## 年代別インターネット株式取引金額

当社 (2017年10月～12月)

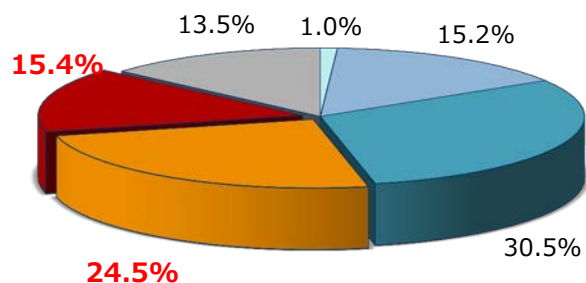
### 現物取引

50・60才代取引比率  
**49.4%**



### 信用取引

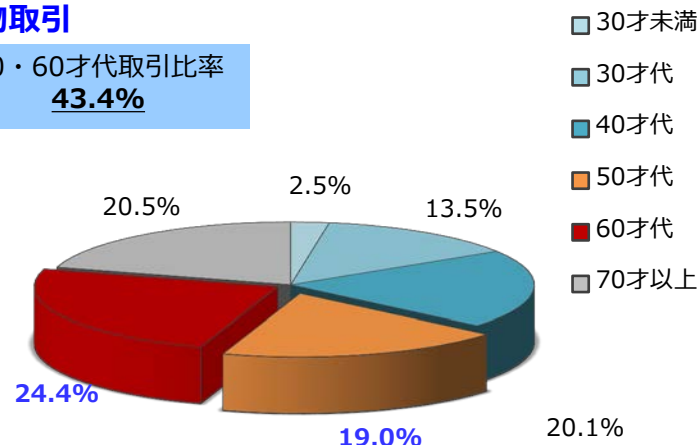
50・60才代取引比率  
**39.8%**



(参考) 日本証券業協会集計 (2017年4月～2017年9月)

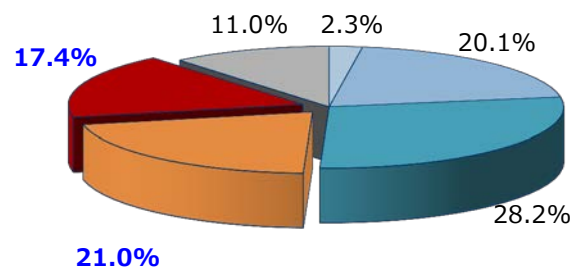
### 現物取引

50・60才代取引比率  
**43.4%**



### 信用取引

50・60才代取引比率  
**38.4%**



※ 日本証券業協会公表資料より

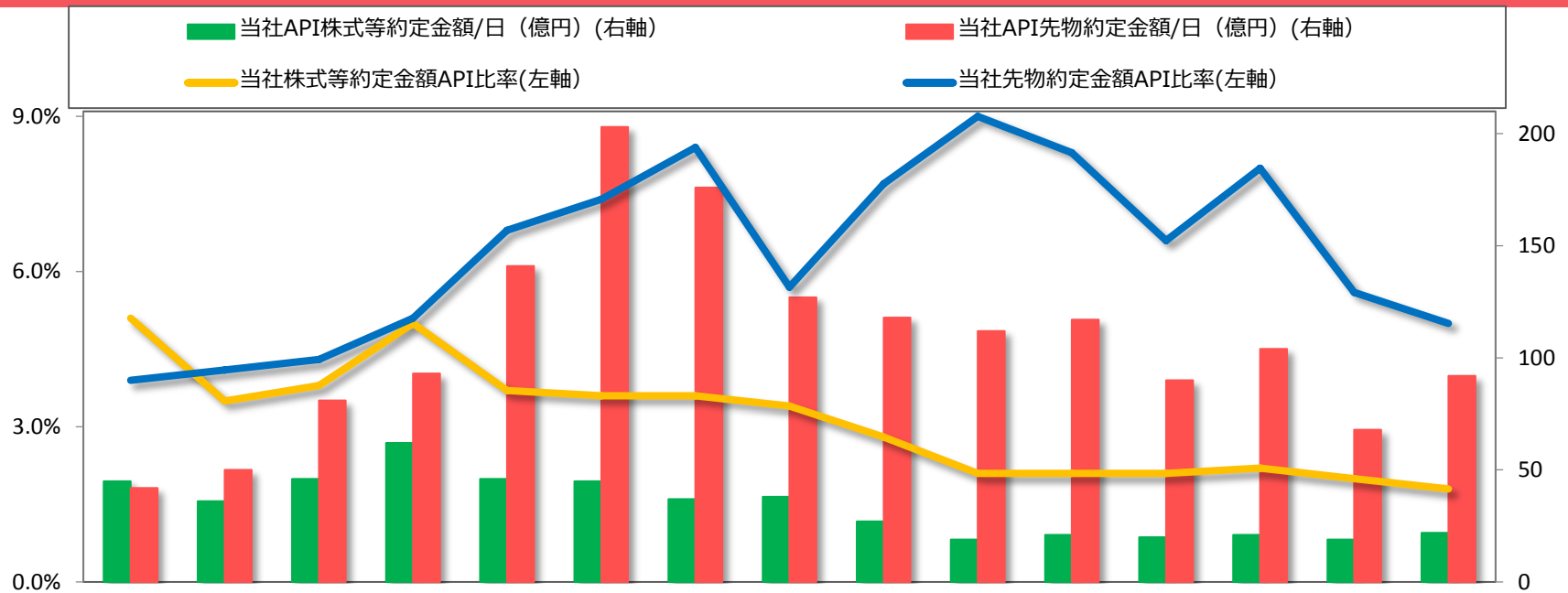


# Appendix

## VI. BtoBtoC業務

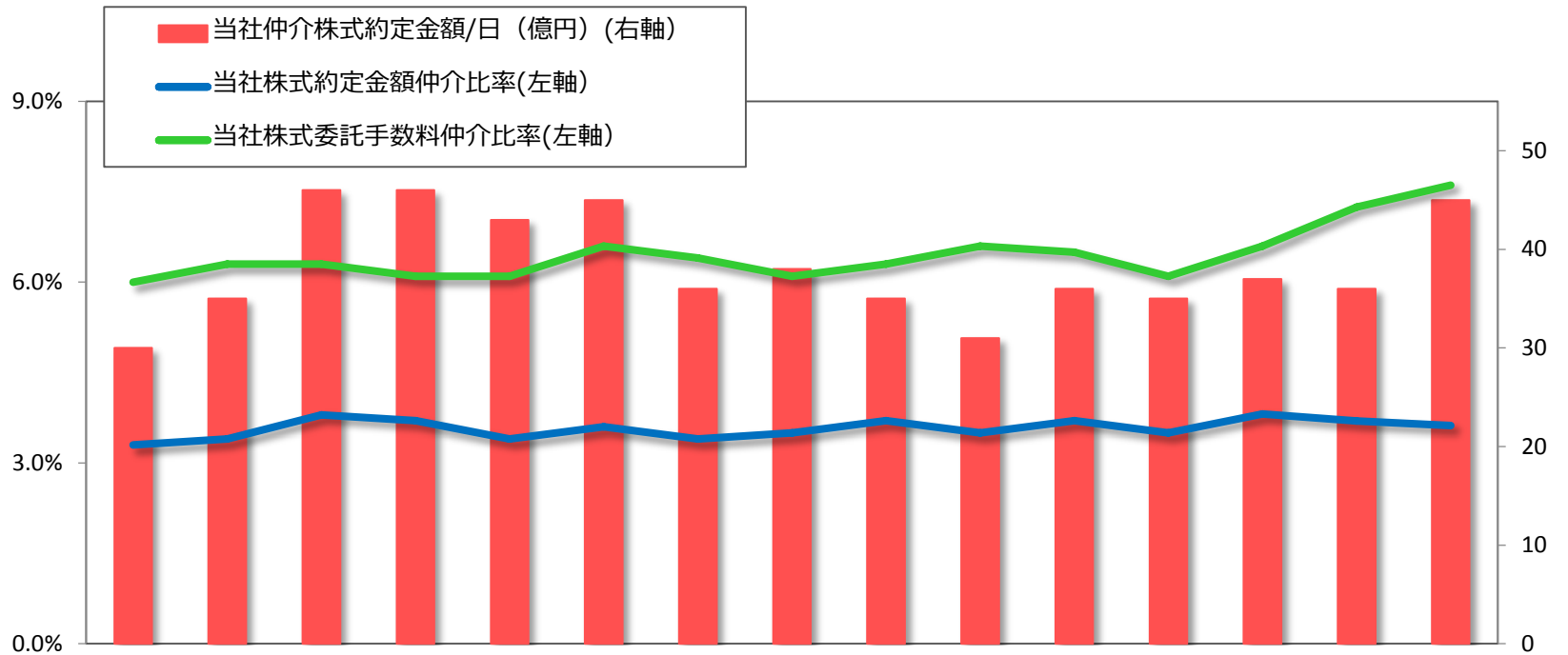
---

## BtoBtoC実績 ～API実績推移～



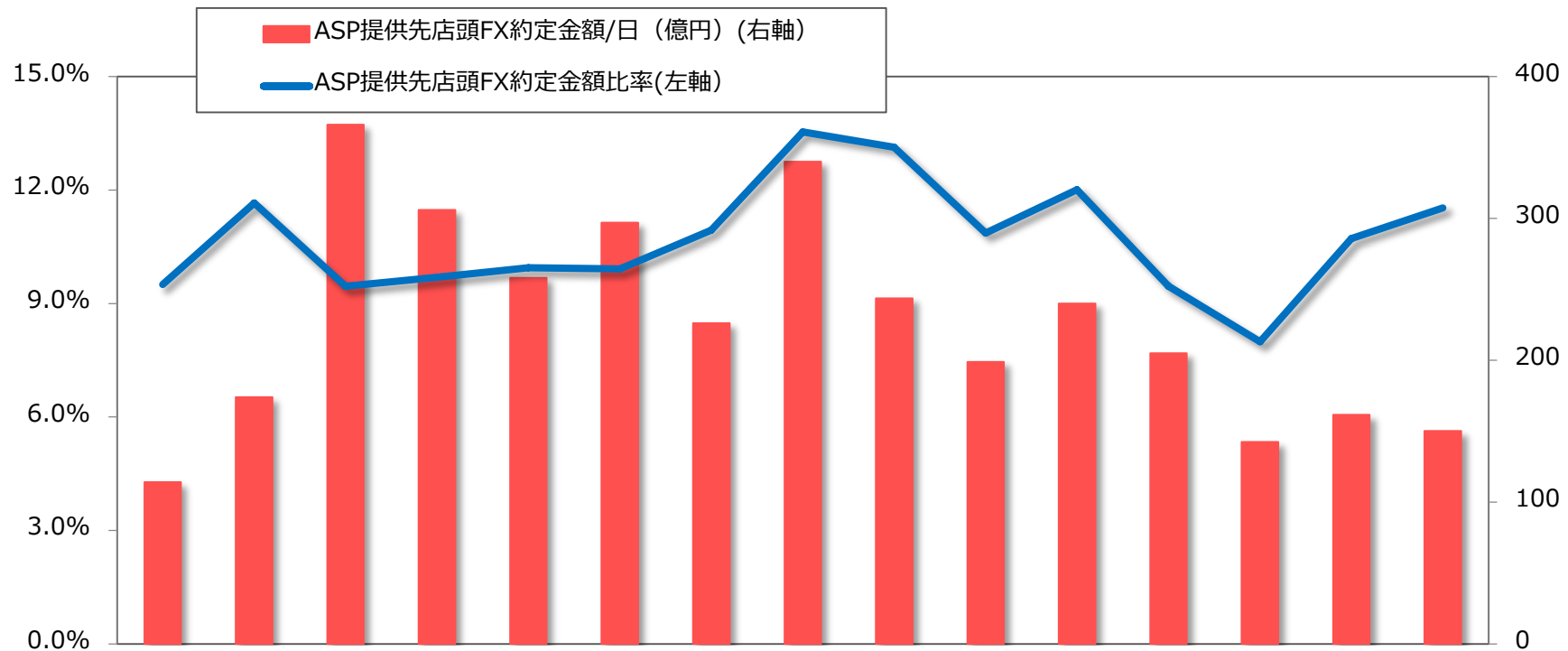
API (億円)	2014年度				2015年度				2016年度				2017年度			前Q比
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	
<b>(株式等)</b>																
API約定等金額/日	45	36	46	62	46	45	37	38	27	19	21	20	21	19	22	+16%
約定金額API比率	5.1%	3.5%	3.8%	5.0%	3.7%	2.0%	3.6%	3.4%	2.8%	2.1%	2.1%	2.1%	2.2%	2.0%	1.8%	-0.2pt
個人委託売買代金/日	10,690	12,435	14,195	13,876	14,687	14,379	12,180	12,222	11,170	10,212	11,302	10,856	11,221	11,072	14,541	+31%
<b>(先物)</b> ※日経225先物(レギュラー)と日経225miniの合算値																
API約定金額/日※	42	50	81	93	141	203	176	127	118	112	117	90	104	68	92	+35%
約定金額API比率※	3.9%	4.1%	4.3%	5.1%	6.8%	7.4%	8.4%	5.7%	7.7%	9.0%	8.3%	6.6%	8.0%	5.6%	5.0%	-0.6pt
個人委託売買代金/日※	6,555	6,810	11,043	11,363	12,792	16,281	12,616	14,290	9,800	7,583	8,195	9,172	8,846	8,337	13,436	+61%

## BtoBtoC実績 ～オンライン金融商品仲介実績推移～



金融商品仲介 (億円)	2014年度				2015年度				2016年度				2017年度			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	前Q比
仲介株式約定金額/日	30	35	46	46	43	45	36	38	35	31	36	35	37	36	45	+25%
約定金額仲介比率	3.3%	3.4%	3.8%	3.7%	3.4%	3.6%	3.4%	3.5%	3.7%	3.5%	3.7%	3.5%	3.8%	3.7%	3.6%	-0.1pt
委託手数料仲介比率	6.0%	6.3%	6.3%	6.1%	6.1%	6.6%	6.4%	6.1%	6.3%	6.6%	6.5%	6.1%	6.6%	7.2%	7.6%	+0.4pt
二市場株式等個人委託売買代金/日	10,690	12,435	14,195	13,876	14,687	14,379	12,180	12,222	11,170	10,212	11,302	10,856	11,221	11,072	14,541	+31%

## BtoBtoC実績 ～ASP実績推移～



ASP (億円)	2014年度				2015年度				2016年度				2017年度			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	前Q比
ASP店頭FX約定金額/日	114	174	366	306	258	297	226	340	243	198	239	204	142	161	150	-7%
店頭FX約定金額ASP比率※	9.5%	11.7%	9.5%	9.7%	9.9%	9.9%	10.9%	13.5%	13.1%	10.9%	12.0%	9.5%	8.0%	10.7%	11.5%	+0.8pt
店頭FX市場約定金額/日 (兆円)	9.7	11.2	26.1	25.6	23.2	23.0	15.7	24.5	18.6	17.0	19.9	20.8	15.6	16.5	14.1	-14%

※ASP提供先店頭FX約定金額比率 = ASP提供先店頭FX売買代金 ÷ {当店頭FX売買代金 (シストレFX+店頭FX) + ASP提供先店頭FX売買代金}

# Appendix

## Ⅵ. その他計数・非財務情報

---

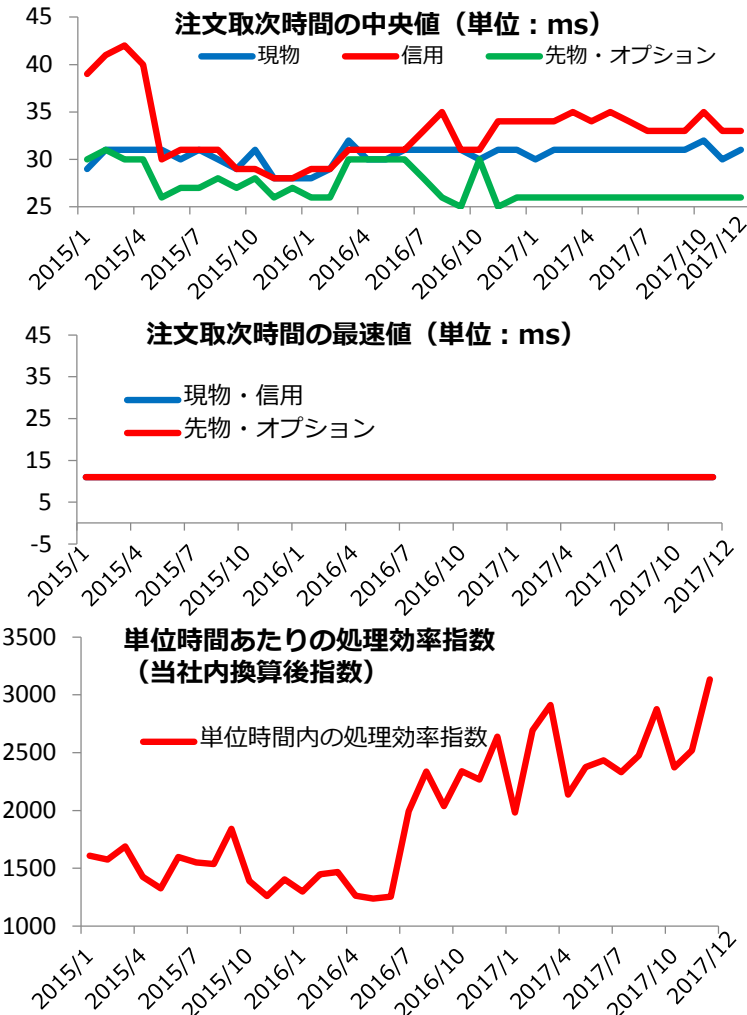
# システム関連の開示

## 主な設備・基盤整備 (2017年10月～12月)

	月日	設備増強・基盤整備
機能追加	11/8(水)	<b>kabu.com API</b> を利用し、Amazonが提供するクラウドベース音声サービス「 <b>Amazon Alexa</b> 」に対応する「 <b>カブコム for Alexa</b> 」の提供を開始いたしました。
	12/1(金)	外出時もアクティブなトレード環境を提供し、 <b>kabuステーション® (PC)</b> との <b>シームレスな連携</b> を実現する <b>kabuステーション® スマホアプリ (Android版)</b> の提供を開始いたしました。
	12/21(木)	kabuステーション®, <b>アクティブトレーダー向け「リアルタイム資産評価」</b> の提供を開始いたしました。
	12/21(木)	個人投資家向けにストレステスト機能を提供する <b>リスク管理ツール「AIデリバティブ」</b> の提供を開始いたしました。
パフォーマンス向上 システム安定性向上 に向けた施策 機能追加など	10/21(土) 11/18(土)・19(日) 12/16(土)・17(日)	プログラムリリース作業にあわせ、システム機器・ネットワーク機器、無停電電源装置などを <b>最新の機種に更新し、システム全体の信頼性を向上</b> しました。
	10/21(土)	<b>勘定情報を管理するデータベースサーバの記憶領域の拡張</b> をおこない、これまで以上に <b>安定したシステム性能を提供</b> できるキャパシティの改善を行いました。
セキュリティ体制強化	10/28(土)	くりっく365・株365(取引所CFD)において <b>ネットワーク構成を変更し、強固なセキュリティ構成</b> に更新いたしました。

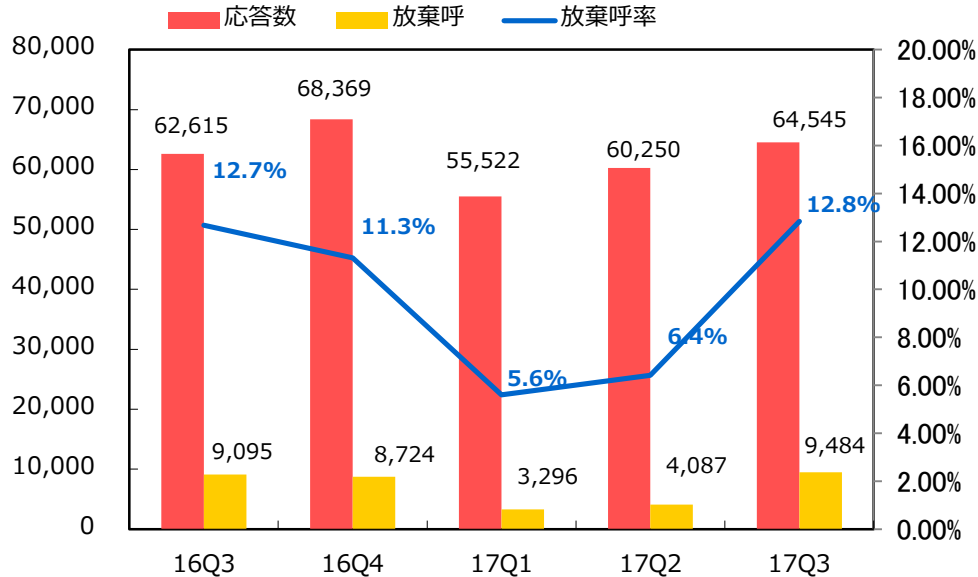
## 主なシステム障害 (2017年10月～12月)

月日	内容	影響範囲	対処
10/28	先物OP取引の夜間取引にて、お客様の約定結果の反映遅延及び発注不備等が発生しました。	約400口座	当社SLA(サービス品質保証制度)に則り、お客さまに不利益が生じた場合は原状回復を行いました。また不備事象の原因となったミドルウェア製品のバージョンアップを実施し、不具合を解消しております。今後も更なるシステム管理・監視態勢の強化により再発防止に努めます。



# お客様サポートセンター関連の開示

## お客様サポートセンターのご利用状況



市況が回復した今四半期は入電数が大幅に増加し、放棄呼率（12.8%）は大幅に悪化しました。お客さまをお待たせすることがないように改善に尽力してまいります。

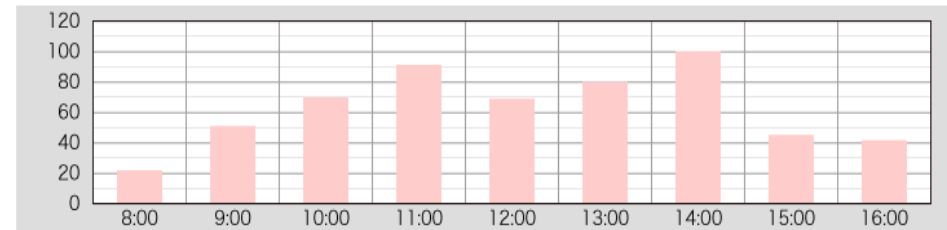
## お客様サポートセンターからのお知らせ

### ● 確定申告の時期はお電話が大変混み合います。

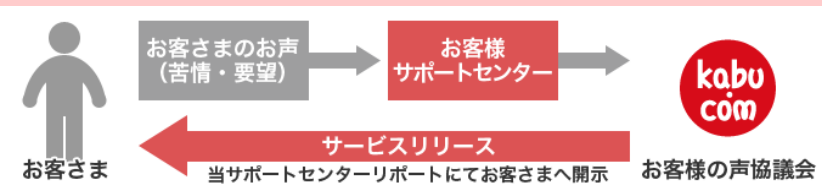
確定申告の時期は例年お電話が大変混み合います。また本年は株式相場の活況もあり、例年以上にお電話が混み合っております。

当社お客様サポートセンターではホームページ上の『サポートセンターレポート』（<https://kabu.com/support/report/default.html>）にてお電話の着信状況や応答待ち時間等を公開しております。お電話がつながりやすい時間帯は朝8時から9時までと夕刻16時から17時になります。

また、Eメールでのお問合せも受け付けておりますので、お客様のご都合にあわせ、お問合せいただきますようお願いいたします。



※ サポートセンターレポートにて開示している応答待ち時間(秒)の一例



お客様サポートセンターに寄せられたお客さまのお声（苦情・要望）は、営業推進部を中心に各部室で改善に取り組みます。お客さまのお声はコンプライアンス・リスク管理部による検証を経て、トップマネジメントが出席する「お客様の声協議会」にて是正対応等が協議されます。また、「お客様の声協議会」の内容は、対処すべき課題を明確化したうえで、毎月進捗管理を行い、各部室の責任者が共有します。当社は、直接お客さまのお声を把握することにより、迅速にお客さまが感じておられる問題に対処するとともに、より良いサービスの実現に向けた継続的な改善に努めております。さらに、お客さまからいただいたお声等への回答は、「サポートセンターレポート」（<https://kabu.com/support/report.asp>）にて開示しております。

## 知的財産関連の開示

- 当社では、新技術およびそのサービス名称を「特許権」「商標権」として権利化することにより企業の保有する知的資産の価値として蓄積し、企業価値の向上に結びつけるため、知的財産戦略に積極的に取り組んでおります。

- ✓ 登録特許の件数は**オンライン証券最多の16件**（2017年12月末現在：共同特許含む）
- ✓ 自動売買等の注文発注システムをはじめ、資産管理や金融商品仲介に関連する技術など特許を多数出願中

### ①注文発注に関する特許（自動売買等）

特許第3734168号	【自動売買】±指値（プライマシィね®）の処理システム
特許第3754009号	【自動売買】W指値®の利益確定とロスカット幅を自動設定するUターン注文®の処理システム
特許第3875206号	【自動売買】当社の逆指値注文をはじめとする自動売買を実現するための発注装置
特許第3966475号	SLA（サービス品質保証制度）を実現するための技術
特許第4076512号	【自動売買】±指値（プライマシィね®）の一部の希望を実現させるための技術
特許第4132069号	【自動売買】Uターン注文®における一部の機能を実現させるための技術
特許第4420384号	【自動売買】注文制限値幅自動値段調整機能を実現させるための技術
特許第4915910号	お客さまのお取引におけるリスクヘッジのための注文に関する技術
特許第5105910号	取引所から別の取引所（外国市場、PTS等）への注文を引き継ぐ技術

特許第5154290号	国内取引所と私設市場の最良執行をおこなう技術（SOR：スマートオーダールーティング）
特許第5274048号	株式等の板情報が表示された画面から注文をおこなう技術（板発注）

### ②資産管理に関する特許（自動残高維持等）

特許第4471375号	お客さまからの預り金の残高を所定の水準に自動的に維持する技術
特許第4542444号	お客さまからの保証金や証拠金の残高を所定の水準に自動的に維持する技術

### ③金融商品仲介に関する特許（三菱東京UFJ銀行との共同特許）

特許第3719711号	電話をかけ直すことなく、コールセンター間の通話を可能にする中継方法の技術
特許第3916242号	オンラインによる証券口座開設ならびに、開設後の自動ログインに関する技術

### ④その他の特許

特許第4562342号	通信ネットワークを通じて利用者の端末装置にパーソナル情報を配信する技術
-------------	-------------------------------------



# kabu.comは積極的な開示を続けております

- 会社情報・IR情報 <https://kabu.com/company/>    ○決算・財務情報 [https://kabu.com/company/disclosure/accounting\\_line.html](https://kabu.com/company/disclosure/accounting_line.html)
- 月次情報開示（業績の推移） [https://kabu.com/company/monthly\\_disclosure/commission/default.html](https://kabu.com/company/monthly_disclosure/commission/default.html)
- 月次情報開示（口座数・約定情報等の推移） [https://kabu.com/company/monthly\\_disclosure/order/default.html](https://kabu.com/company/monthly_disclosure/order/default.html)
- サポートセンターレポート <https://kabu.com/support/report/default.html>
- 顧客投資成績 [https://kabu.com/company/monthly\\_disclosure/score/default.html](https://kabu.com/company/monthly_disclosure/score/default.html)
- システムレポート [https://kabu.com/company/monthly\\_disclosure/system/default.html](https://kabu.com/company/monthly_disclosure/system/default.html)
- SLA精査状況 [https://kabu.com/company/monthly\\_disclosure/sla/default.html](https://kabu.com/company/monthly_disclosure/sla/default.html)
- 売買審査状況 [https://kabu.com/company/monthly\\_disclosure/mktsurvey/default.html](https://kabu.com/company/monthly_disclosure/mktsurvey/default.html)
- コーポレートガバナンス報告書 <https://kabu.com/company/profile/governance.html>

## ■お取引にあたってご注意いただきたい事項

各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。当社ホームページにて取引内容、リスク等の説明内容事項をご覧ください。

※証券投資は、価格変動、金利の変動、為替の変動等により投資元本を割り込み恐れがあります。自動売買を含むすべてのご注文は必ず約定するものではありません。

お取引の際は、目論見書、約款・規程集及び契約締結前交付書面等をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等をよくご理解の上、ご自身のご判断で無理のない資産運用を行ってください。

※投資信託の購入は、基準価額の変動により元本を割り込み損失を被ることがあります。ファンドにより販売手数料とは別に、信託報酬・解約手数料・その他手数料等を要するものがありますが、各ファンド別に要件・料率等が異なりますので表示できません。お取引に際しては、目論見書（商品毎）および目論見書補完書面（投資信託）をよくお読みください。

※信用取引・指数先物取引・指数オプション取引は、保証金または証拠金以上のお取引が可能であるため、保証金または証拠金を超える大きな損失を被ることがあります。又、取引期限があり取引期限を越えてのお取引はできません。

※外国為替証拠金取引（FX）は、取引金額がお客さまが預託しなければならない証拠金の額に比べて大きい額となっており、投資額以上の損失が生じる可能性があります。又、外国為替証拠金取引は元本や利益を保証するものではなく、為替変動リスクや金利変動等のリスクを伴います。本取引において当社が提示する売値と買値の間には差額があります。

※外国債券の価格は、金利水準の変動により上下するため、償還前に売却する場合には、元本損失が生じる可能性があります。また、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに対する外部評価の変化等により、損失を被ることがあります。外国債券は、為替相場の変動等により、元本損失が生じたり、債券を発行する組織（発行体）が所属する国や地域、取引がおこなわれる通貨を発行している国や地域の政治・経済・社会情勢に大きな影響を受けたりするおそれがあります。外国債券を購入する場合は、委託手数料はかかりませんが、売買における売付け適用為替レートと買付け適用為替レートには差額があります。上記、適用為替レートは債券の起債通貨によって異なり、実勢レートに基づき当社が決定します。

※お取引に際しては、契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やお取引ルール等をよくご理解の上、ご自身のご判断で無理のない資産運用を行ってください。

※各商品等へのご投資には、商品毎に所定の手数料等が必要です。詳しくは当社の手数料ご案内ページ（<http://kabu.com/cost>）等をご参照ください。手数料には消費税が含まれています。

※掲載情報の最新情報は当社ホームページ（<http://kabu.com/>）にてご確認ください。

◆ご投資にかかる手数料等およびリスクについてはこちらをご参照ください。 <https://kabu.com/company/pressrelease/info/escapeclause.html>